

在宅介護実態調査 報告書

令和8年8月

明石市

目次

1	調査の概要.....	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査の実施概要.....	1
	(3) 集計・分析に係る用語の定義.....	1
	(4) 調査結果の表示方法.....	2
2	調査対象者について.....	3
	(1) 世帯類型.....	3
	(2) 本人が抱えている傷病.....	4
3	親族による介護.....	5
	(1) 家族等による介護の頻度.....	5
	(2) 主な介護者の属性.....	6
	(3) 介護の内容.....	8
	(4) 介護離職.....	10
4	支援・サービス.....	14
	(1) 保険外の支援・サービスの利用状況.....	14
	(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス.....	15
	(3) 在宅生活に必要な支援・サービス.....	15
	(4) 施設等への入所・入居の検討状況.....	16
	(5) 訪問診療の利用状況.....	16
5	調査結果と認定データを使用した個別のクロス集計結果について.....	17
	◆検討テーマと集計・分析の狙い.....	17
	◆調査対象者の年齢区分別・要介護度.....	18
	(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討.....	19
	(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討.....	23
	(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	35
	(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	39
	(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制.....	44
6	調査結果のまとめ.....	48
	(1) 在宅生活の限界点向上について.....	48
	(2) 仕事と介護の両立について.....	48
	(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	48
	(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	49
	(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制.....	49
7	調査票	50

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「明石市高齢者いきいき福祉計画及び第10期介護保険事業計画」を策定するにあたり、「高齢者の在宅生活の継続」と「主な介護者の就労継続」に有効な介護サービスの在り方を検討するための基礎資料とします。

(2) 調査の実施概要

調査種類	在宅介護実態調査
対象者	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている人のうち、更新申請、区分変更申請をした者（入院中・施設入所者を除く。） ※特定入居者生活介護または地域密着型特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅などの入居者は含む。
実施件数	890 件
実施期間	2025 年（令和7年）10 月3日～2026 年（令和8年）3月5日
実施方法	認定調査員による聞き取り調査

(3) 集計・分析に係る用語の定義

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		・「住宅改修」「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・ 上表に同じ
訪問系のみ	・ 上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む 組み合わせ	・ 上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・ 上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

（４）調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が１桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・ 複数回答の場合、図中に MA（＝いくつでも回答可）、3LA（＝３つまで回答可）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

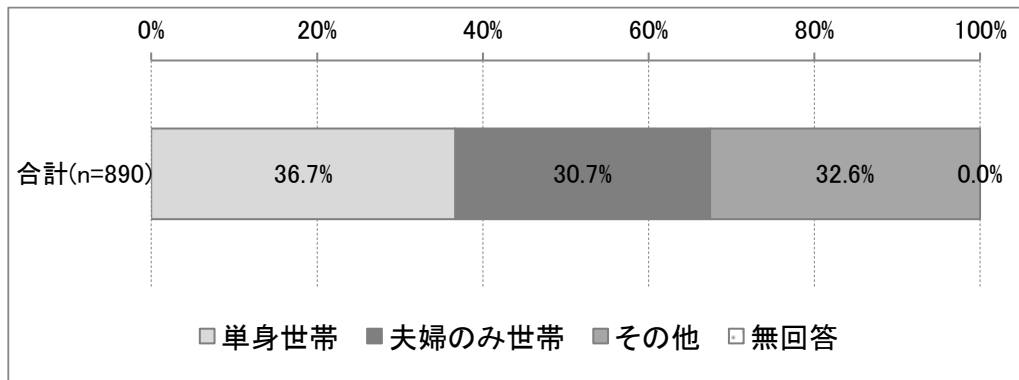
2 調査対象者について

(1) 世帯類型

Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

「単身世帯」が36.7%、「夫婦のみ世帯」が30.7%、「その他」が32.6%となっています。

【世帯類型】

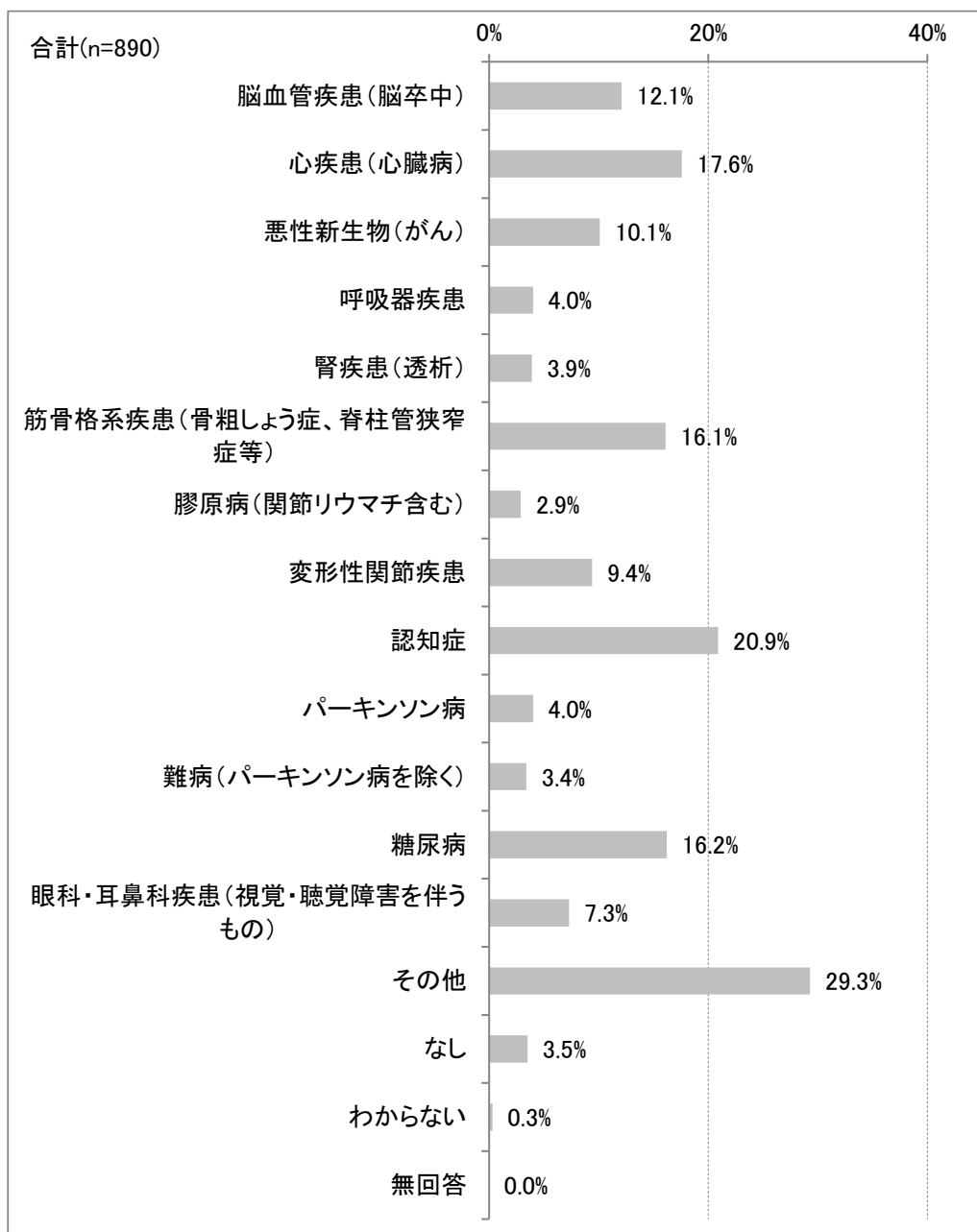


(2) 本人が抱えている傷病

Q ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（あてはまるもの全て）

「その他」が最も多く 29.3%、次いで、「認知症」が 20.9%、「心疾患（心臓病）」が 17.6%となっています。

【本人が抱えている傷病（MA）】



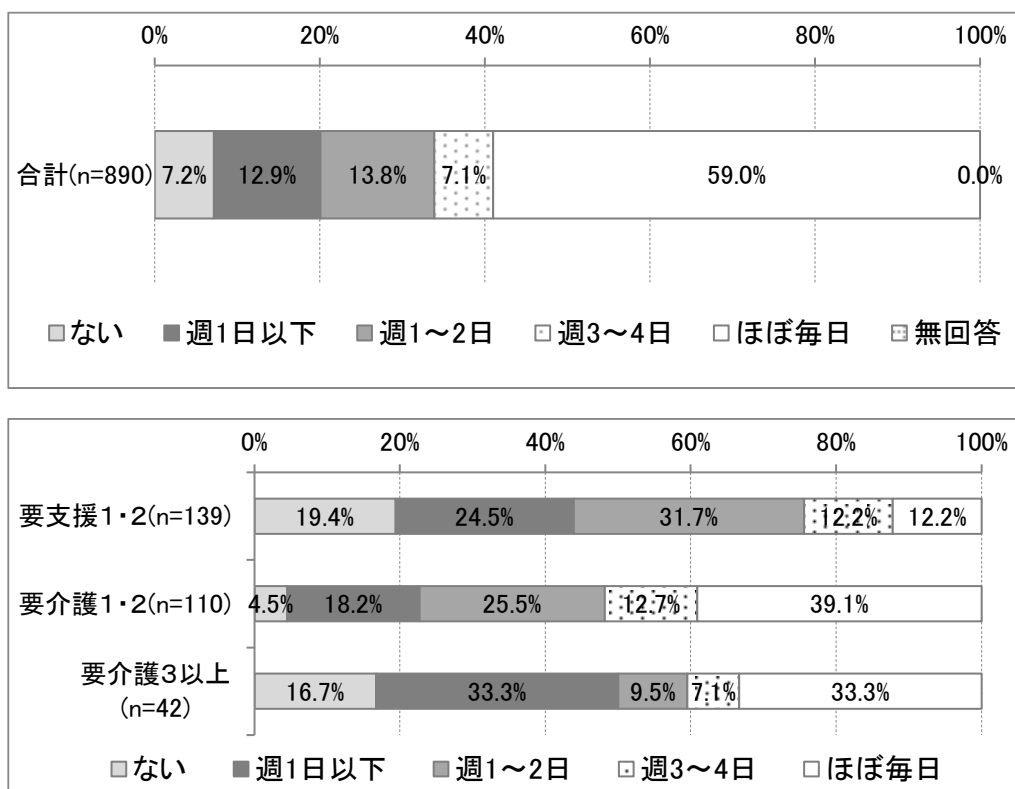
3 親族による介護

(1) 家族等による介護の頻度

Q ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「週1～2日」が31.7%と最も多く、次いで「週1日以下」が24.5%、「ない」が19.4%となっています。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が39.1%と最も多く、次いで「週1～2日」が25.5%、「週1日以下」が18.2%となっています。「要介護3以上」では「週1日以下」が33.3%と最も多く、次いで「ない」が16.7%、「週1～2日」が9.5%となっています。

【要介護度別・介護の頻度】



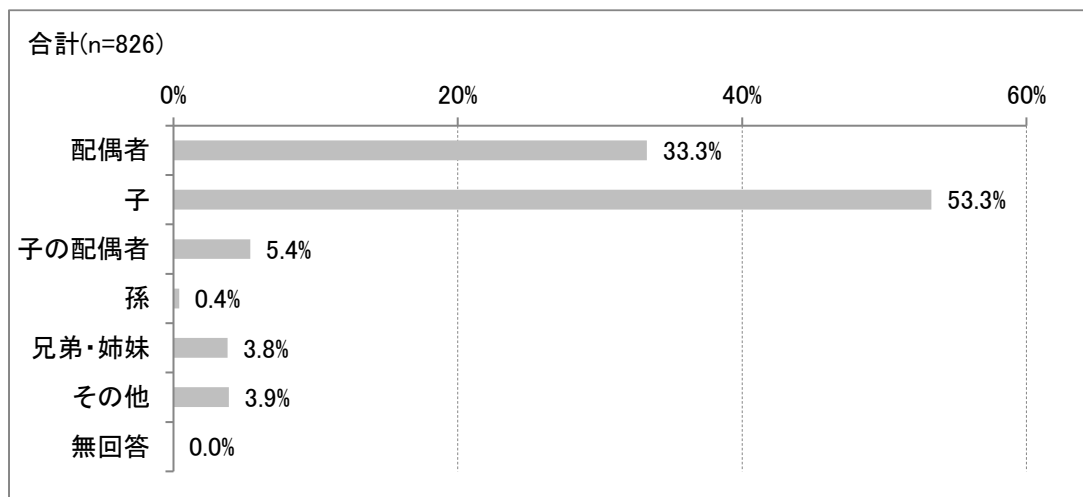
(2) 主な介護者の属性

① 主な介護者

Q 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

「子」が最も多く 53.3%、次いで、「配偶者」が 33.3%、「子の配偶者」が 5.4%となっています。

【主な介護者】

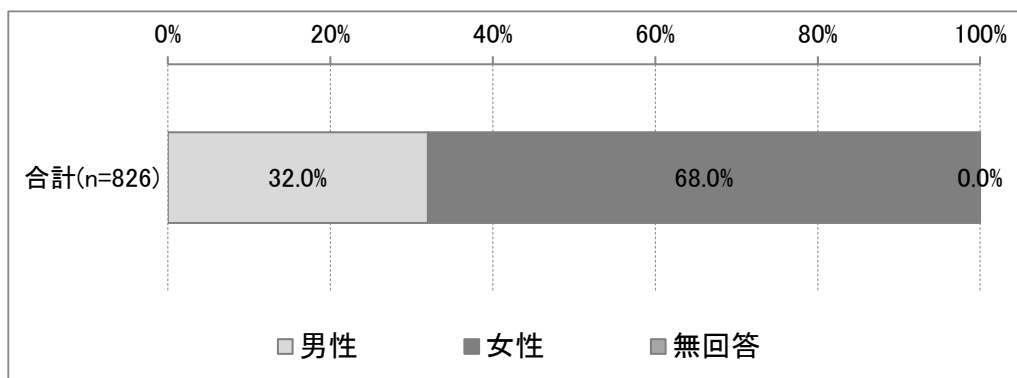


② 主な介護者の性別

Q 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「男性」が32.0%、「女性」が68.0%となっています。

【主な介護者の性別】

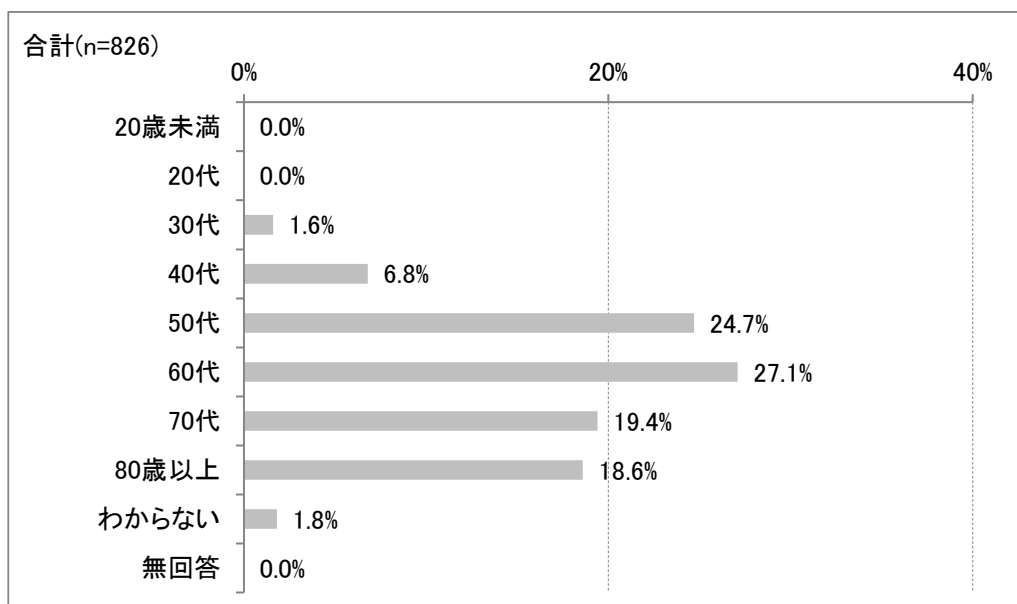


③ 主な介護者の年齢

Q 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「60代」が最も多く27.1%、次いで、「50代」が24.7%、「70代」が9.4%となっています。
主な介護者のうち、70代以上となっている人がほぼ4割となっています。

【主な介護者の年齢】



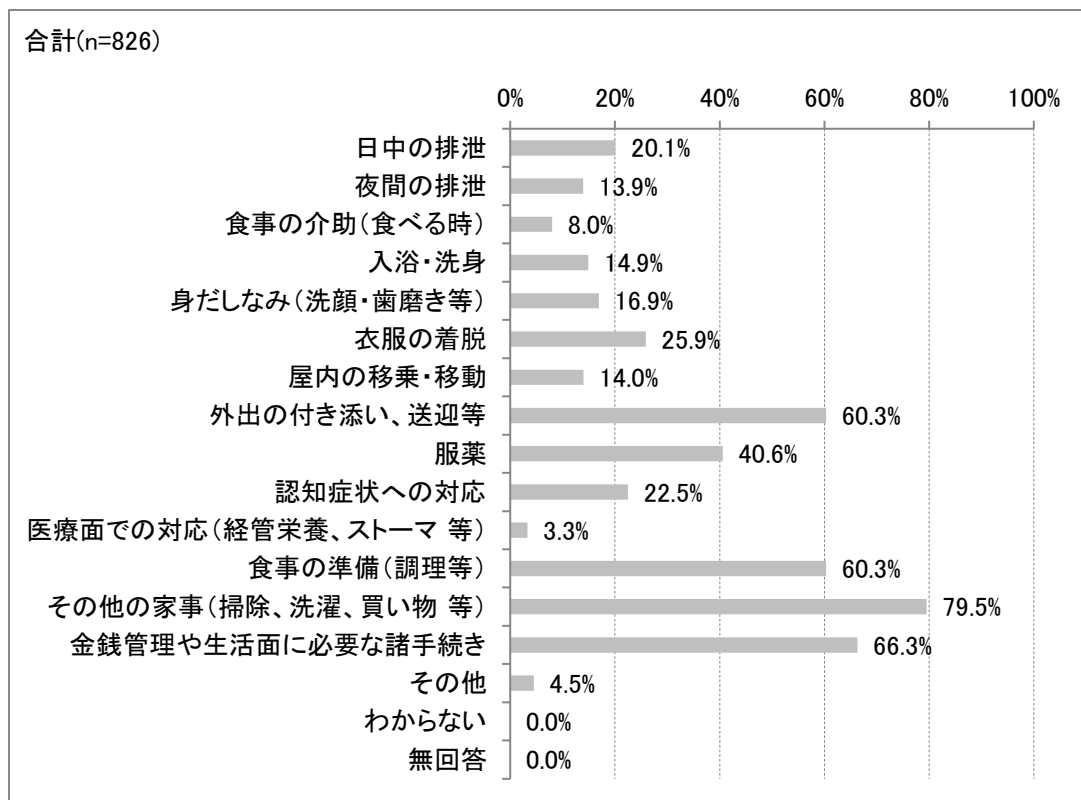
(3) 介護の内容

① 主な介護者が行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(あてはまるもの全て)

「その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)」が最も多く 79.5%、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 66.3%、「外出の付き添い、送迎等」が 60.3%、「食事の準備(調理等)」が 60.3%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】

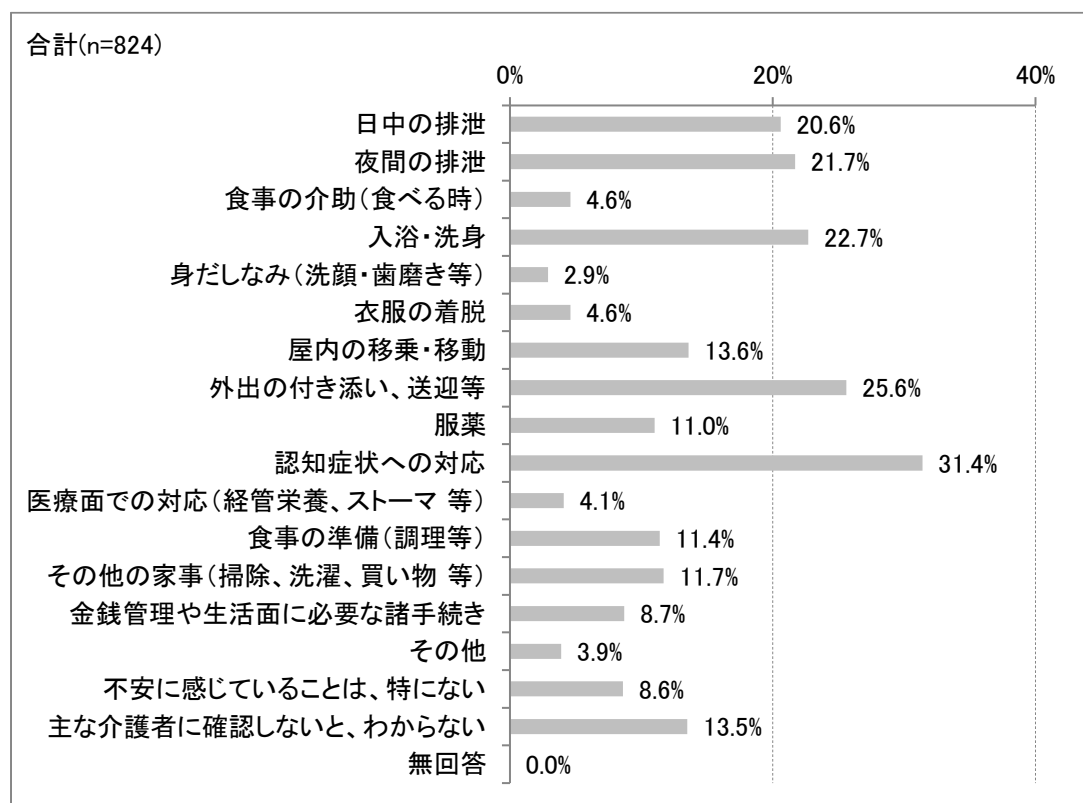


② 主な介護者が不安に感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」が最も多く 31.4%、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が 25.6%、「入浴・洗身」が 22.7% となっています。

【不安に感じる介護（3 L A）】



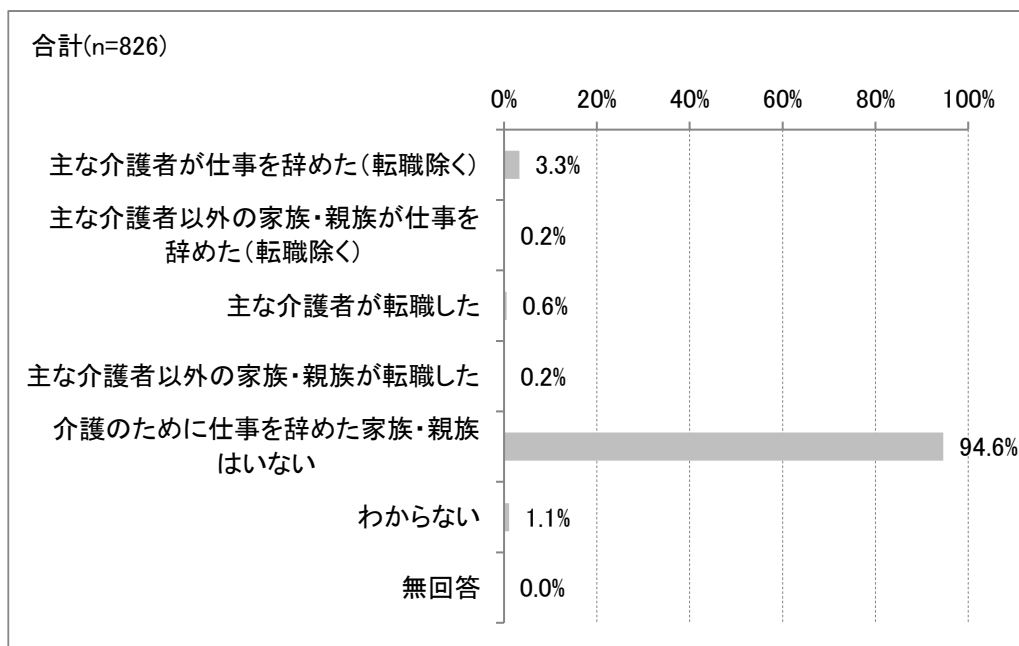
(4) 介護離職

① 介護離職者の有無

Q ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるもの全て）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く 94.6%、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 3.3%、「わからない」1.1%となっています。

【介護離職（MA）】

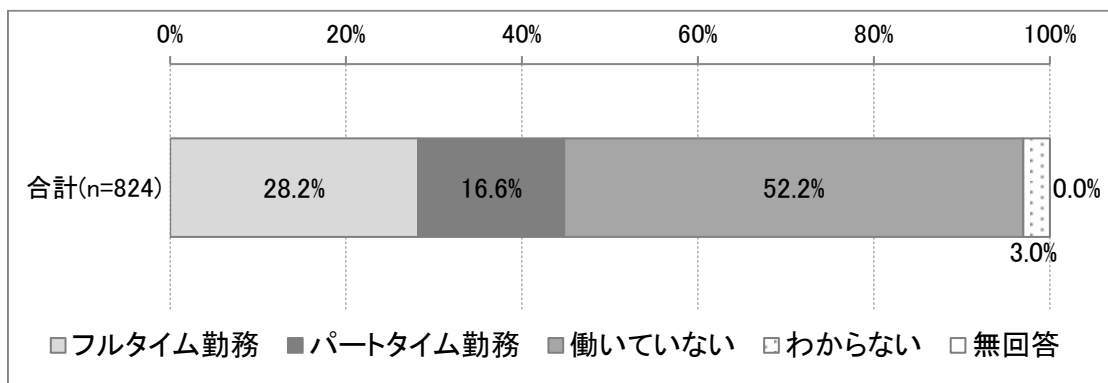


② 主な介護者の勤務形態

Q 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

「働いていない」が最も多く 52.2%、次いで、「フルタイム勤務」が 28.2%、「パートタイム勤務」が 16.6%となっています。

【主な介護者の勤務形態】

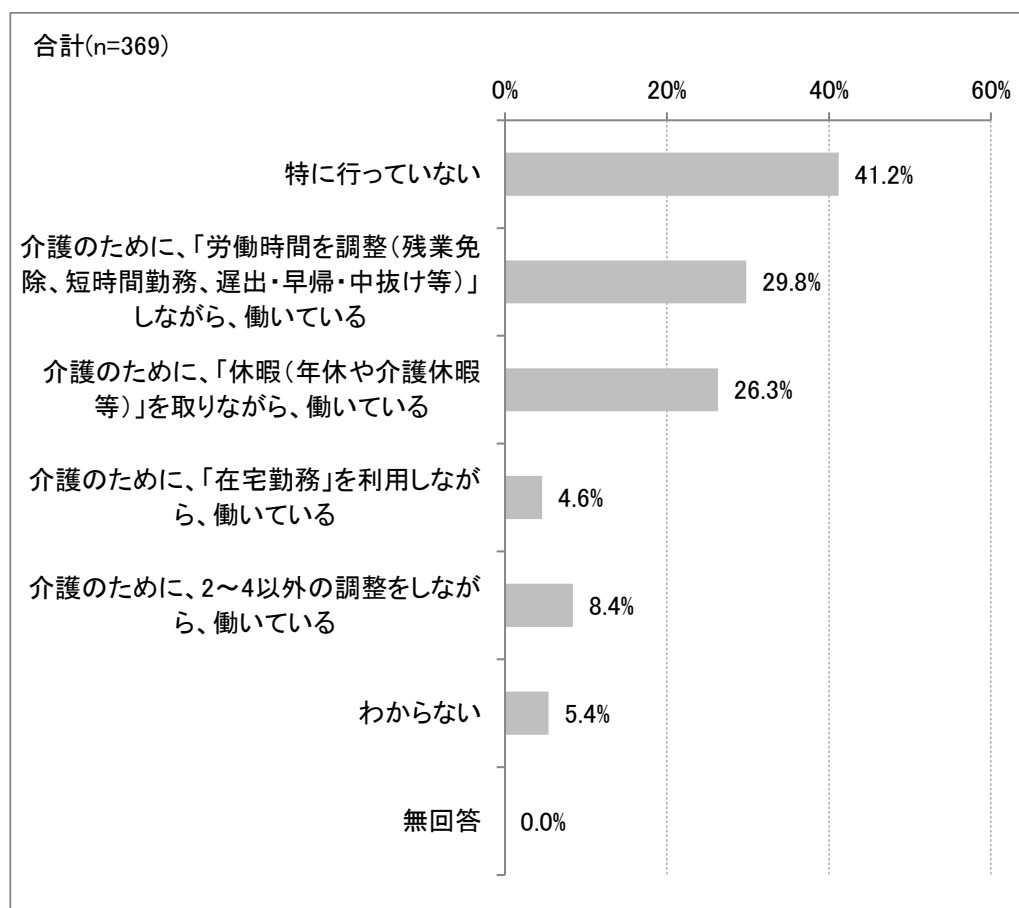


③ 働き方の調整

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（あてはまるもの全て）

「特に行っていない」が最も多く 41.2%、次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 29.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 26.3%となっています。

【働き方の調整（MA）】

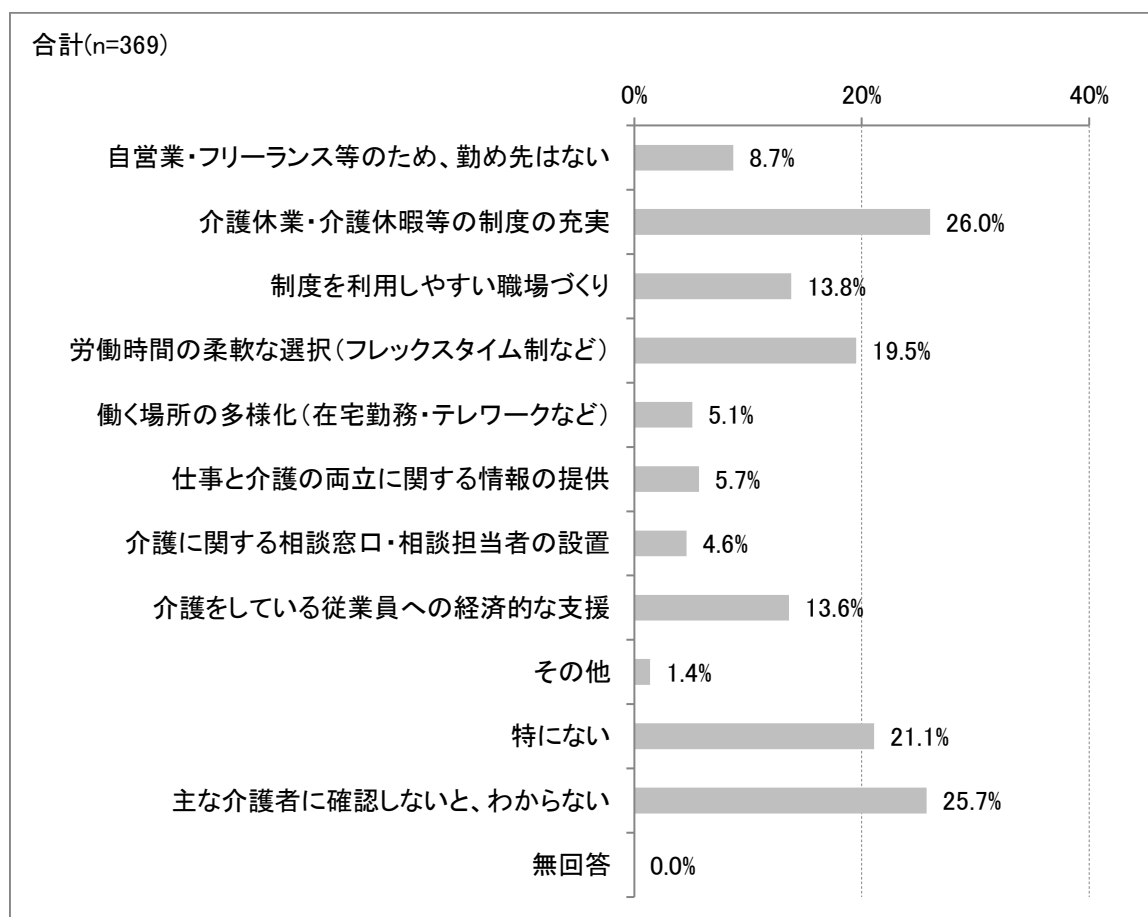


④仕事と介護の両立に効果的であると考えられる勤め先からの必要な支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く 26.0%、次いで、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 25.7%、「特にない」が 21.1%となっています。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援（3 L A）】

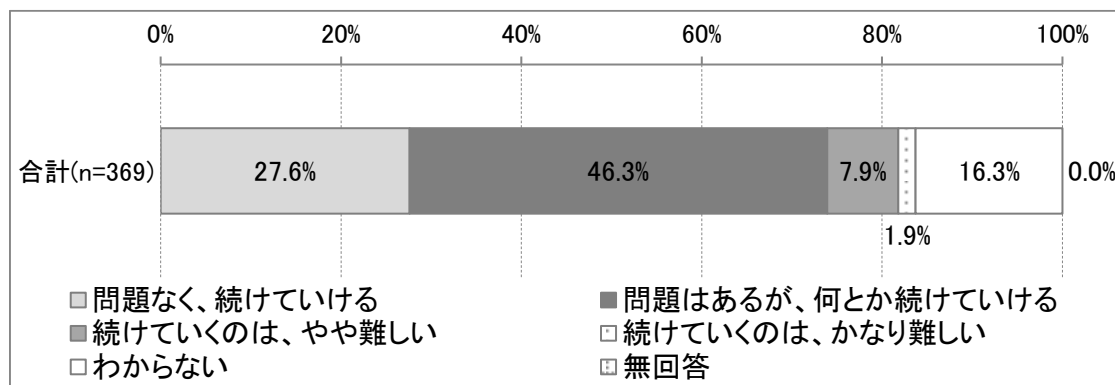


⑤ 今後の仕事と介護の両立の見込み

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く 46.3%、次いで、「問題なく、続けていける」が 27.6%、「わからない」が 16.3%となっています。

【今後の仕事と介護の両立】



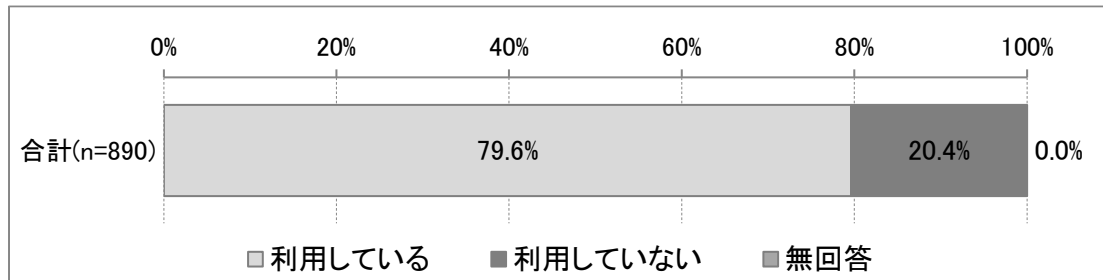
4 支援・サービス

(1) 保険外の支援・サービスの利用状況

Q 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

「利用している」が79.6%、「利用していない」が20.4%となっています。

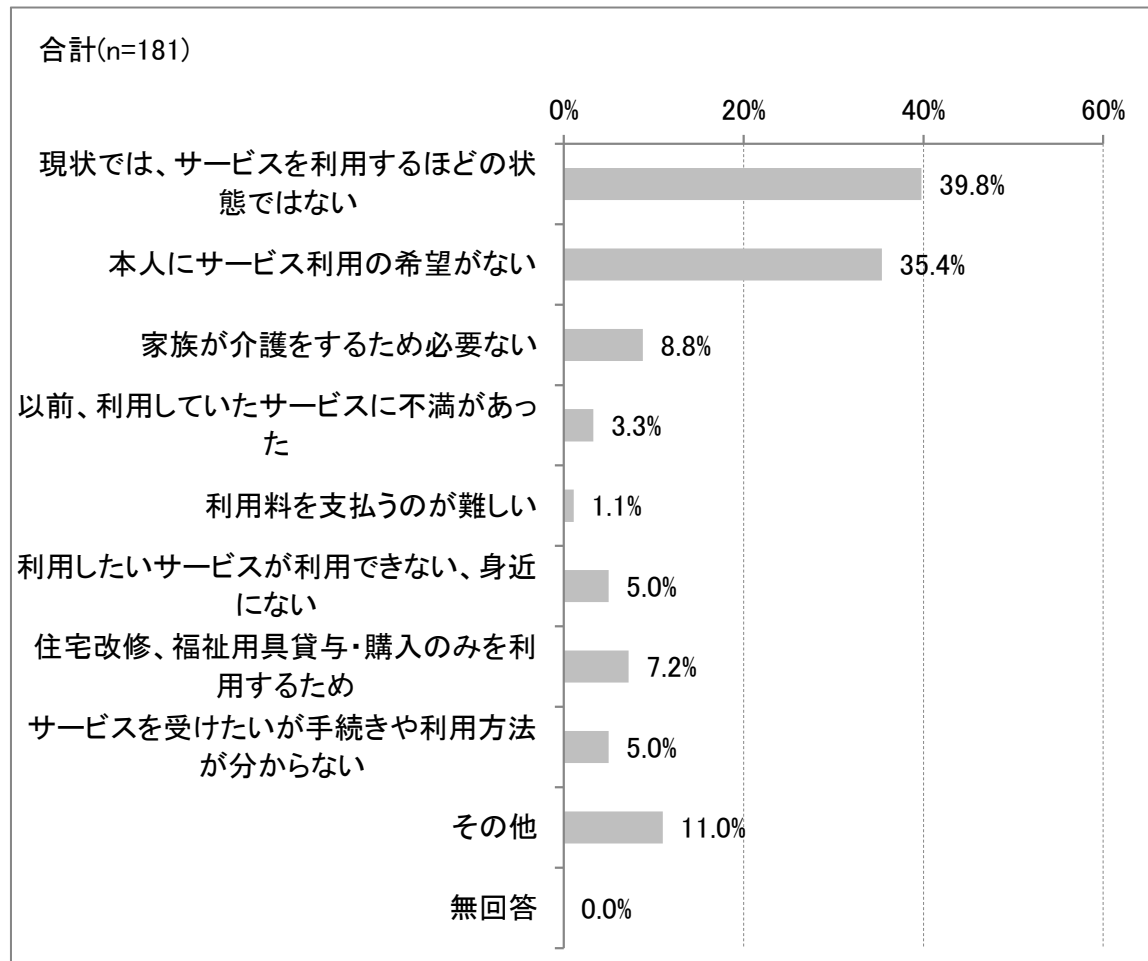
【住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況】



Q 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多く39.8%、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が35.4%、「その他」が11.0%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】

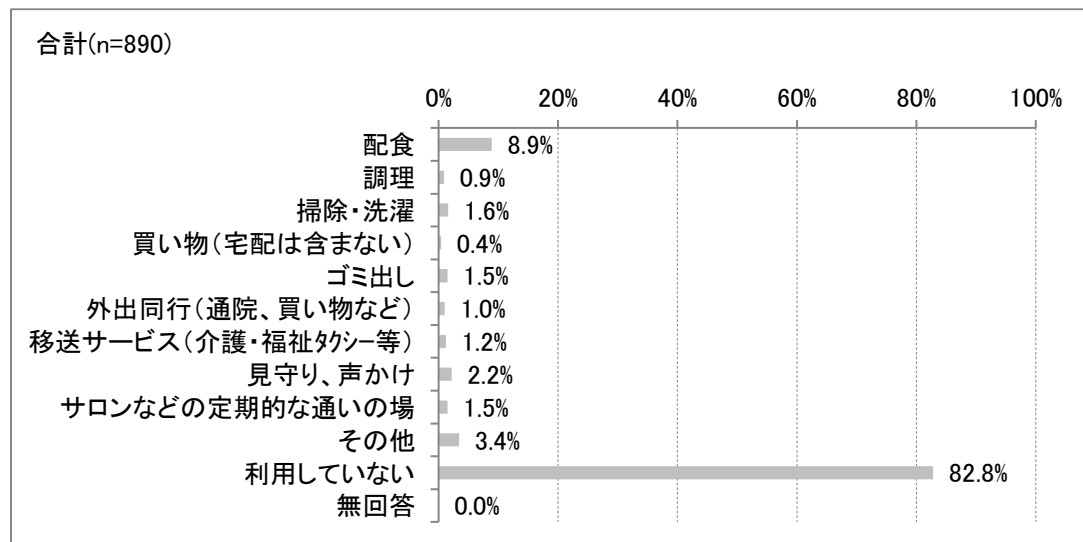


(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

「利用していない」が最も多く 82.8%、次いで、「配食」が 8.9%、「その他」3.4%となっています。

【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス（MA）】

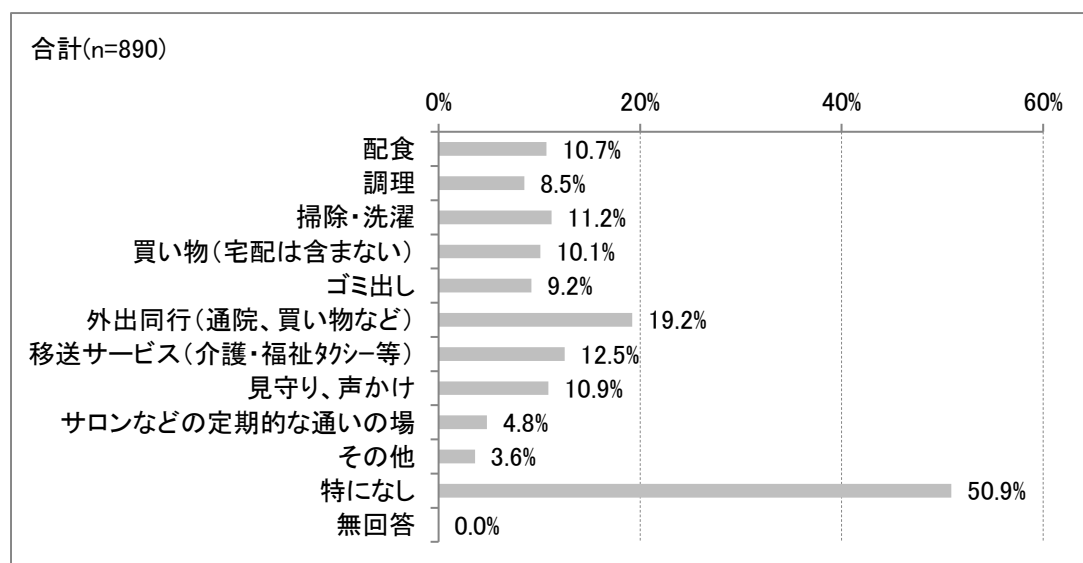


(3) 在宅生活に必要な支援・サービス

Q 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

「特になし」が最も多く 50.9%となっています。次いで、「外出同行（通院、買い物など）」が 19.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 12.5%となっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス（MA）】

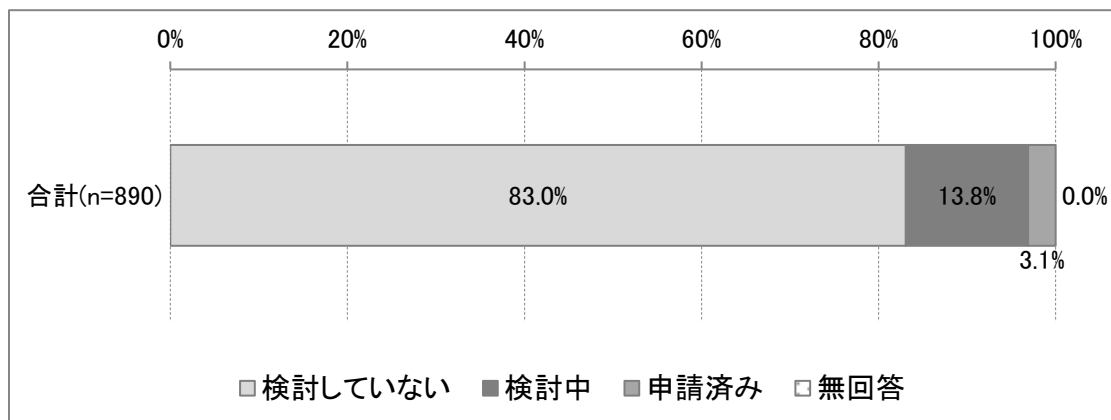


(4) 施設等への入所・入居の検討状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

「検討していない」が83.0%、「検討中」が13.8%、「申請済み」が3.1%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

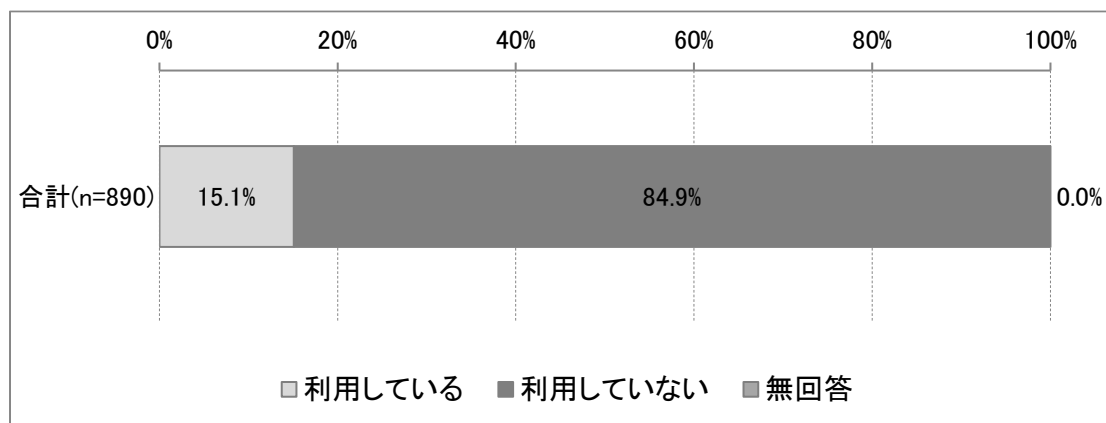


(5) 訪問診療の利用状況

Q ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

「利用している」が15.1%、「利用していない」が84.9%となっています。

【訪問診療の利用状況】



5 調査結果と認定データを使用した個別のクロス集計結果について

◆検討テーマと集計・分析の狙い

● 要介護者の在宅生活の継続／主な介護者の就労継続

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」と、「介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討する。
主な介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「介護者の就労状況」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討する。

● 支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	・ 主に「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討する。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	・ 主に「世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討する。
5 リハビリ系サービスの検討	・ 主に「前回認定と今回認定の改善悪化状況」について、リハビリ系サービスの利用者について集計・分析し、介護予防・重度化防止に関する今後の方向性について検討する。
6 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制	・ 主に「訪問診療の利用」の有無、訪問診療と他のサービスとの組み合わせについて、集計・分析し、医療ニーズの高い在宅療養者のサービス等について検討する。

◆調査対象者の年齢区分別・要介護度

● 年齢区分別・要介護度（人数）

単位：人		要介護区分								合計
		認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
年齢	65歳未満	0	0	1	0	1	2	1	1	6
	65～69歳	0	1	4	2	2	1	0	0	10
	70～74歳	0	11	20	8	2	3	3	2	49
	75～79歳	0	30	49	15	10	6	6	7	123
	80～84歳	0	66	70	39	26	13	11	2	227
	85～89歳	0	50	70	35	28	15	12	4	214
	90～94歳	0	30	29	24	22	8	7	2	122
	95～99歳	0	5	14	9	5	3	3	0	39
	100歳以上	0	1	1	3	0	0	0	0	5
合 計		0	194	258	135	96	51	43	18	795

● 年齢区分別・要介護度（割合）

単位：%		要介護区分							
		認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
年齢	65歳未満	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7
	65～69歳	0.0	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	70～74歳	0.0	22.4	40.8	16.3	4.1	6.1	6.1	4.1
	75～79歳	0.0	24.4	39.8	12.2	8.1	4.9	4.9	5.7
	80～84歳	0.0	29.1	30.8	17.2	11.5	5.7	4.8	0.9
	85～89歳	0.0	23.4	32.7	16.4	13.1	7.0	5.6	1.9
	90～94歳	0.0	24.6	23.8	19.7	18.0	6.6	5.7	1.6
	95～99歳	0.0	12.8	35.9	23.1	12.8	7.7	7.7	0.0
	100歳以上	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
割 合		0.0	24.4	32.5	17.0	12.1	6.4	5.4	2.3

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

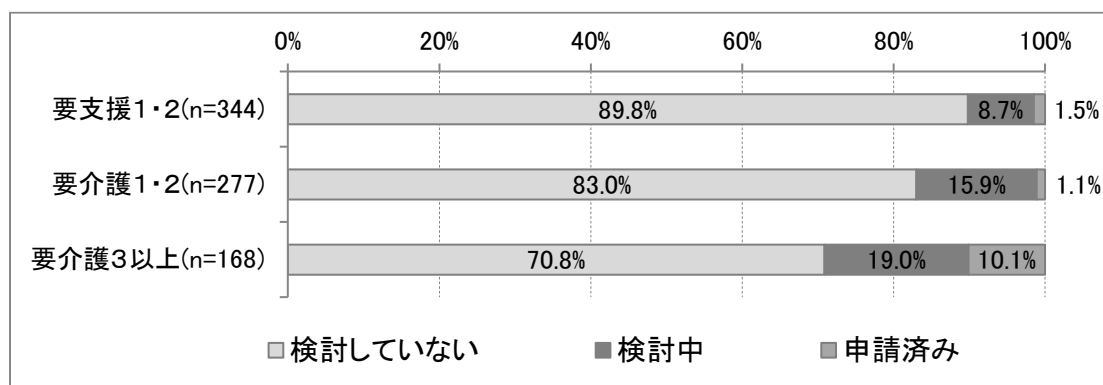
① 施設等への入所・入居の検討状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

● 要介護度別

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が89.8%、「検討中」が8.7%、「申請済み」が1.5%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が83.0%、「検討中」が15.9%、「申請済み」が1.1%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が70.8%、「検討中」が19.0%、「申請済み」が10.1%となっています。

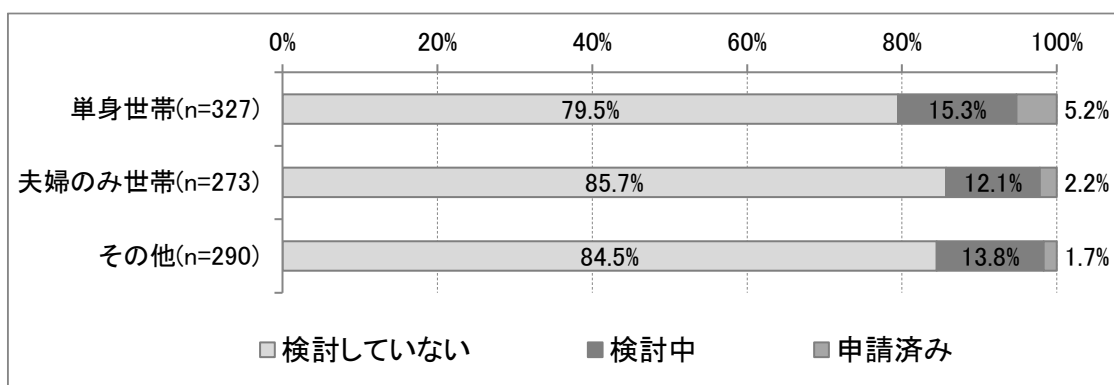
【要介護度別・施設等検討の状況】



● 世帯類型別

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が79.5%、「検討中」が15.3%、「申請済み」が5.2%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が85.7%、「検討中」が12.1%、「申請済み」が2.2%となっています。「その他」では「検討していない」が84.5%、「検討中」が13.8%、「申請済み」が1.7%となっています。

【世帯類型別・施設等検討の状況】



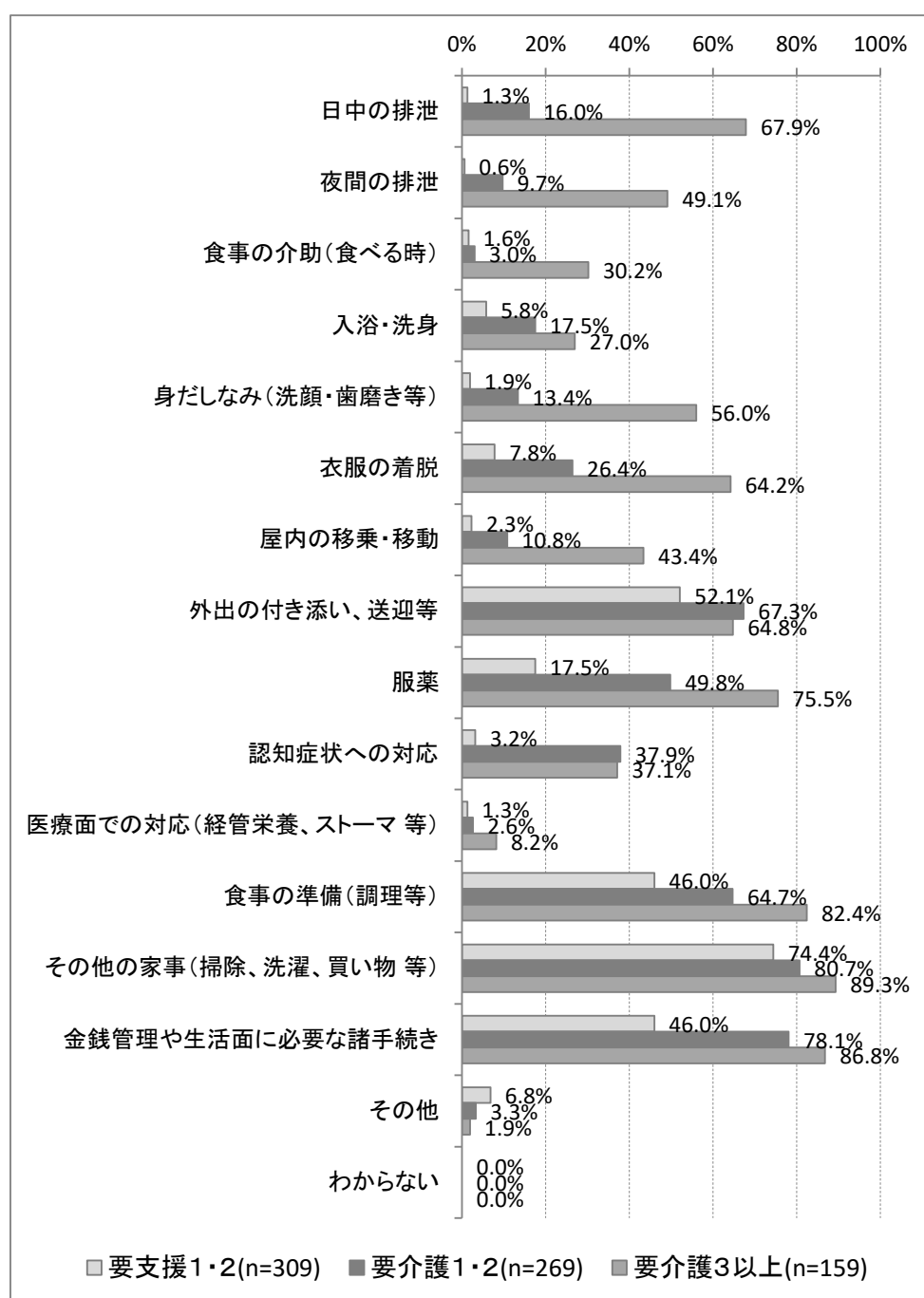
② 主な介護者が行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

● 要介護度別

主な介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が74.4%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が52.1%、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が46.0%となっています。「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が80.7%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.1%、「外出の付き添い、送迎等」が67.3%となっています。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が89.3%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が86.8%、「食事の準備（調理等）」が82.4%となっています。

【要介護度別主な介護者が行う介護（MA）】



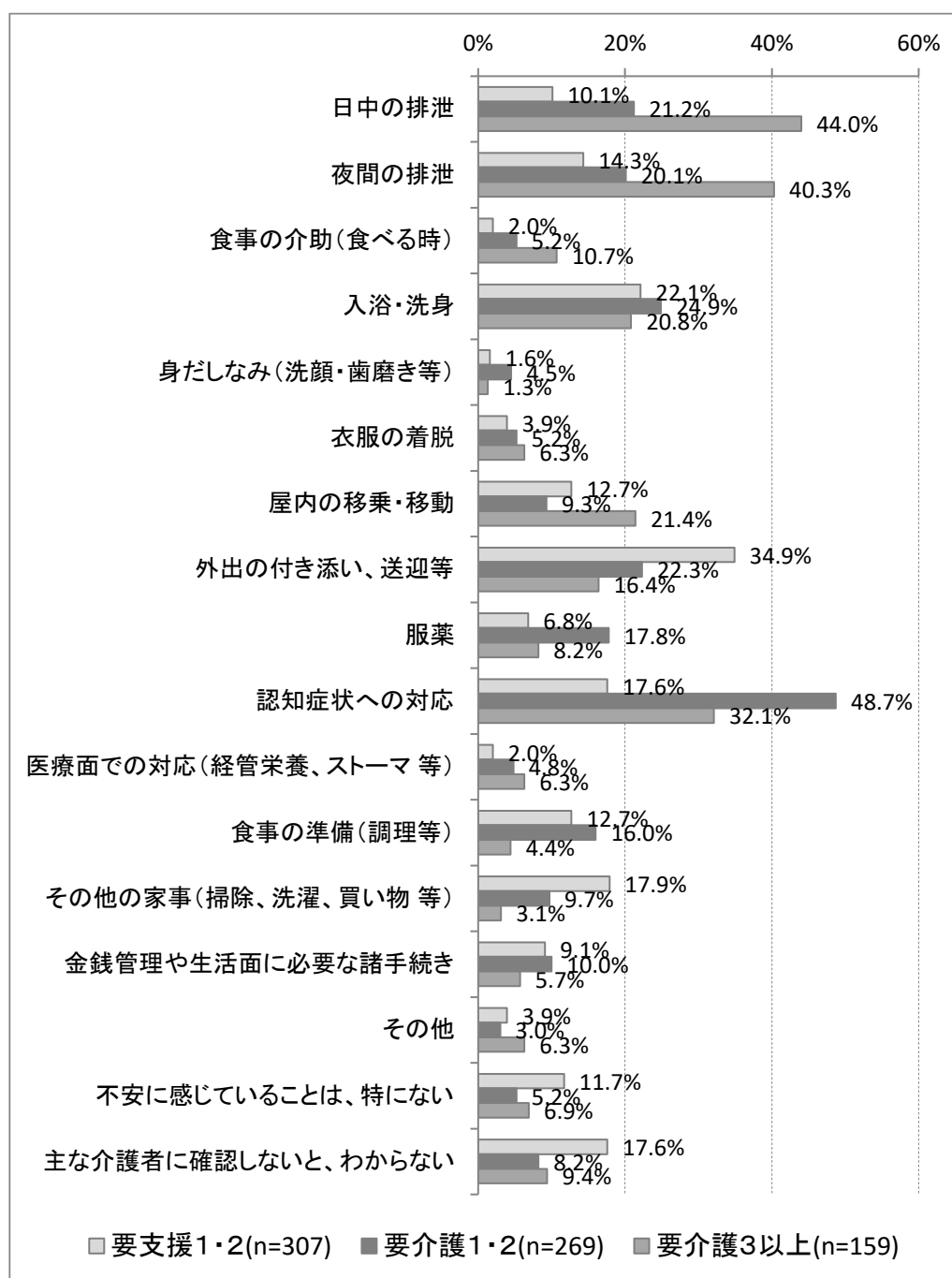
③ 主な介護者が不安に感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

● 要介護度別

主な介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が34.9%と最も多く、次いで「入浴・洗身」が22.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が17.9%となっています。「要介護1・2」では「認知症状への対応」が48.7%と最も多く、次いで「入浴・洗身」が24.9%、「外出の付き添い、送迎等」が22.3%となっています。「要介護3以上」では「日中の排泄」が44.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が40.3%、「認知症状への対応」が32.1%となっています。

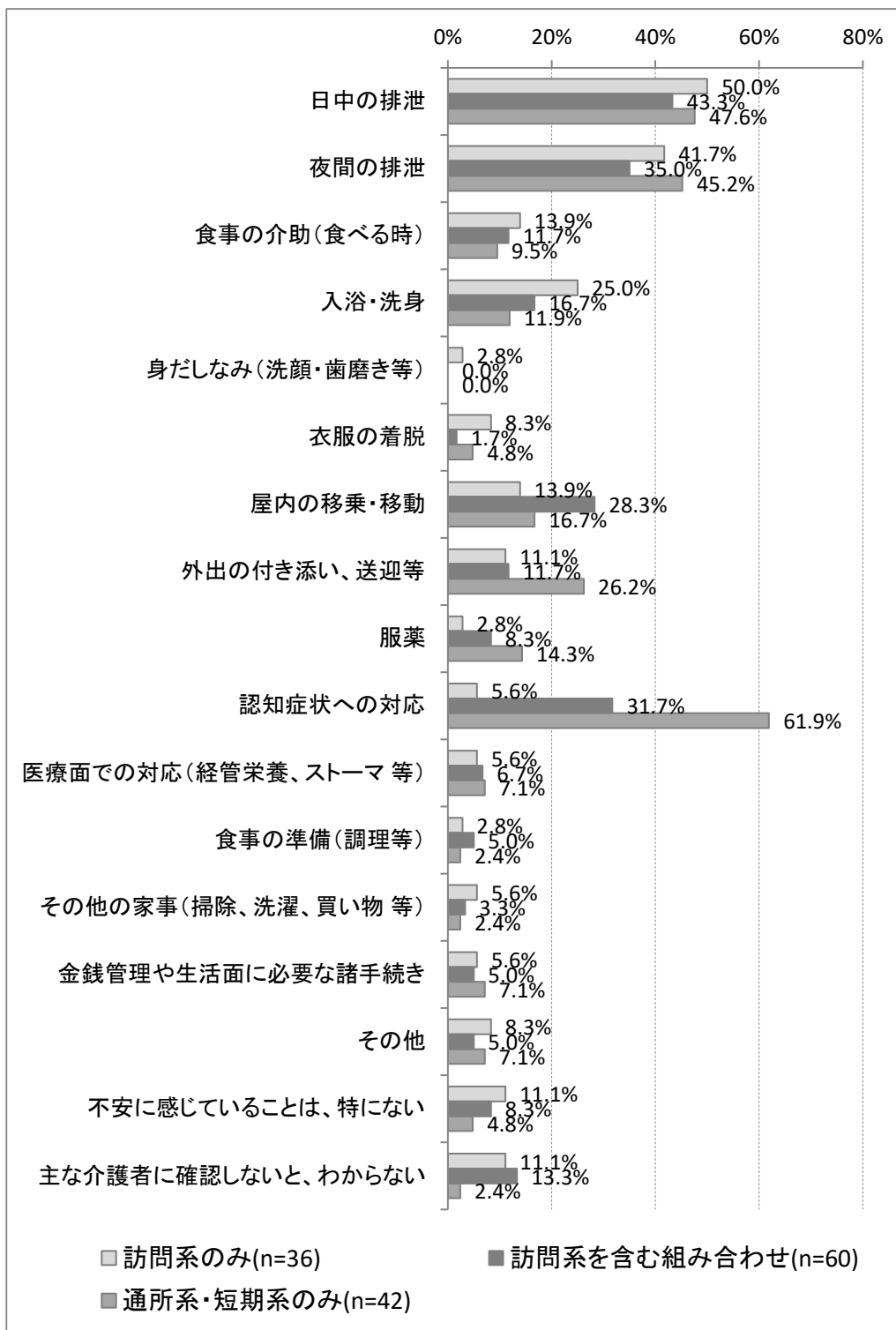
【要介護度別・主な介護者が不安に感じる介護（3L A）】



● 要介護3以上（サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安を感じる介護）

主な介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」が50.0%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が41.7%、「入浴・洗身」が25.0%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」が43.3%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が35.0%、「認知症状への対応」が31.7%となっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が61.9%と最も多く、次いで「日中の排泄」が47.6%、「夜間の排泄」が45.2%となっています。

【サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

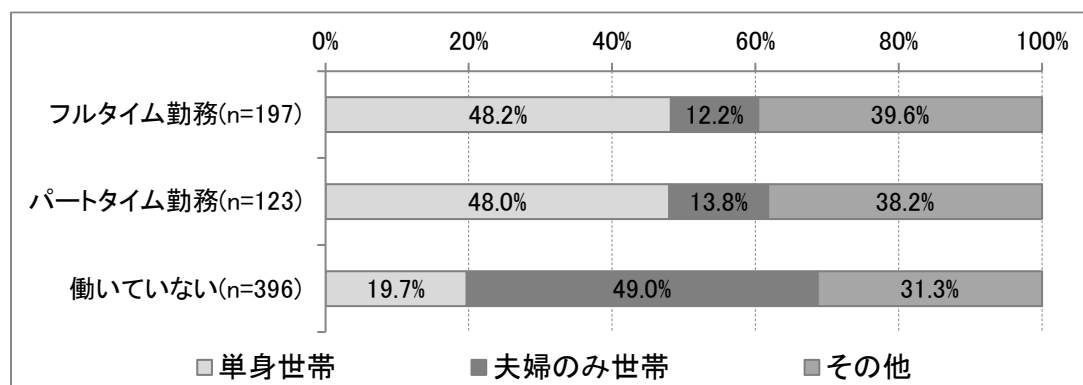
① 就労状況別 主な介護者・要介護者の属性

● 世帯類型

Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

世帯類型を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「単身世帯」が48.2%と最も多く、次いで「その他」が39.6%、「夫婦のみ世帯」が12.2%となっています。「パートタイム勤務」では「単身世帯」が48.0%と最も多く、次いで「その他」が38.2%、「夫婦のみ世帯」が13.8%となっています。「働いていない」では「夫婦のみ世帯」が49.0%と最も多く、次いで「その他」が31.3%、「単身世帯」が19.7%となっています。

【就労状況別・世帯類型】

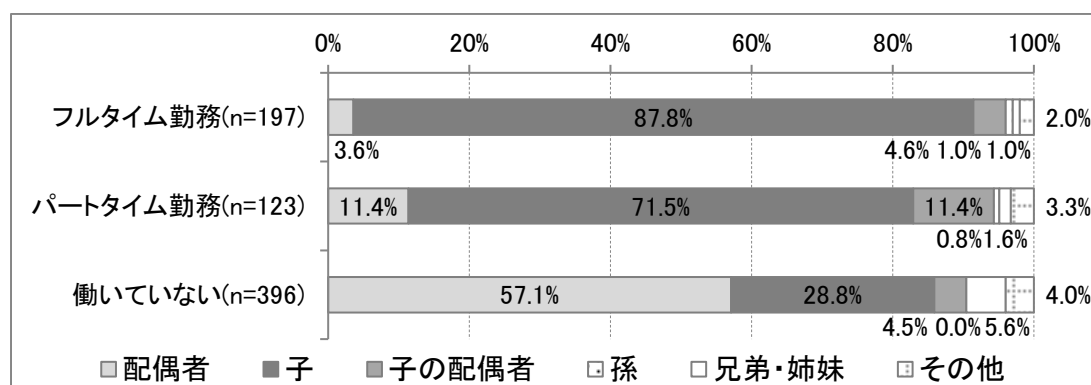


● 要介護者との関係

Q 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が87.8%と最も多く、次いで「子の配偶者」が4.6%、「配偶者」が3.6%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が71.5%と最も多く、次いで「子の配偶者」が11.4%、「その他」が3.3%となっています。「働いていない」では「配偶者」が57.1%と最も多く、次いで「子」が28.8%、「兄弟・姉妹」が5.6%となっています。

【就労状況別・要介護者との関係】

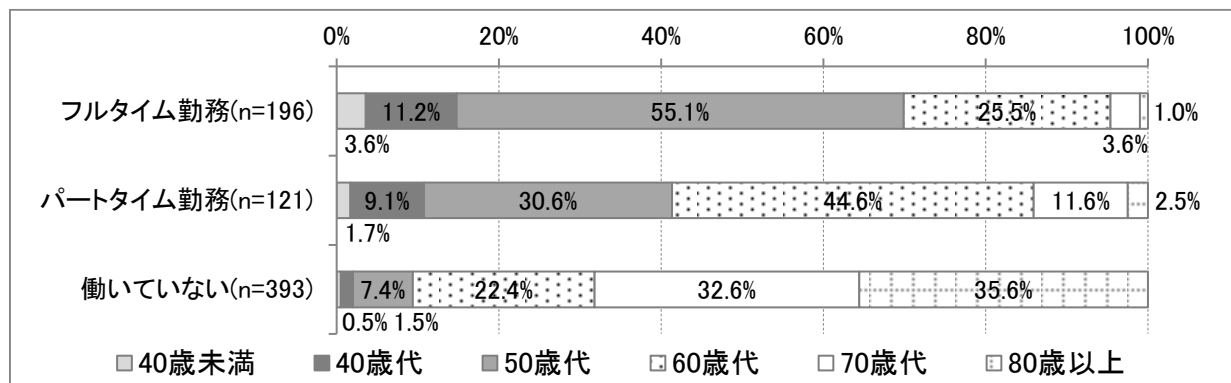


● 主な介護者の年齢

Q 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 55.1%と最も多く、次いで「60 歳代」が 25.5%、「40 歳代」が 11.2%となっています。「パートタイム勤務」では「60 歳代」が 44.6%と最も多く、次いで「50 歳代」が 30.6%、「70 歳代」が 11.6%となっています。「働いていない」では「80 歳以上」が 35.6%と最も多く、次いで「70 歳代」が 32.6%、「60 歳代」が 22.4%となっています。

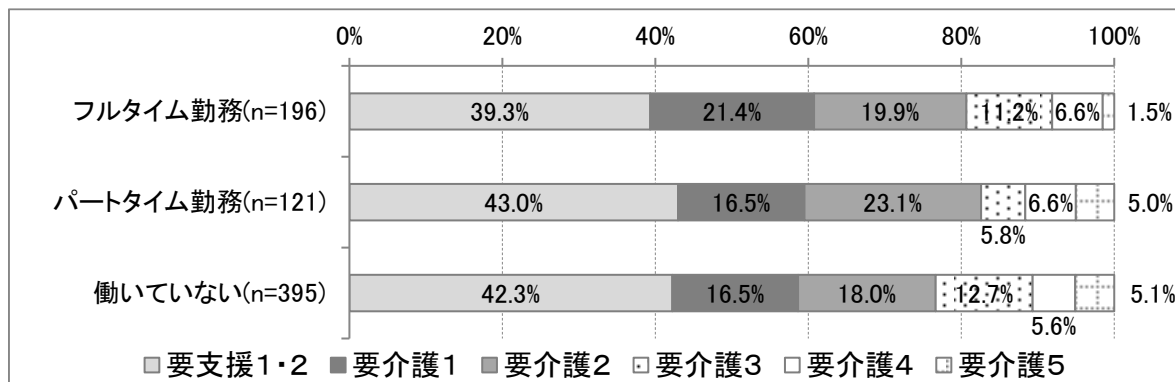
【就労状況別・主な介護者の年齢】



● 要介護者の要介護度

二次判定結果を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援1・2」が 39.3%と最も多く、次いで「要介護1」が 21.4%、「要介護2」が 19.9%となっています。「パートタイム勤務」では「要支援1・2」が 43.0%と最も多く、次いで「要介護2」が 23.1%、「要介護1」が 16.5%となっています。「働いていない」では「要支援1・2」が 42.3%と最も多く、次いで「要介護2」が 18.0%、「要介護1」が 16.5%となっています。

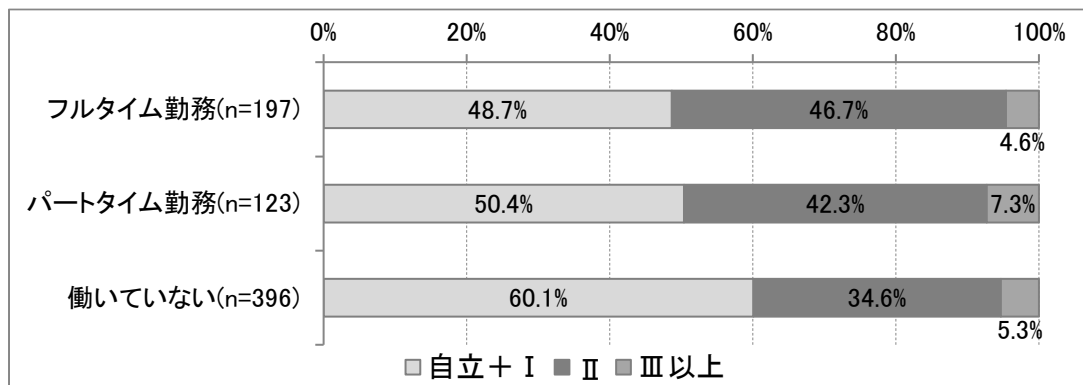
【就労状況別・要介護度】



● 要介護者の認知症自立度

認知症高齢者自立度を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が48.7%と最も多く、次いで「Ⅱ」が46.7%、「Ⅲ以上」が4.6%となっています。「パートタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が50.4%と最も多く、次いで「Ⅱ」が42.3%、「Ⅲ以上」が7.3%となっています。「働いていない」では「自立+Ⅰ」が60.1%と最も多く、次いで「Ⅱ」が34.6%、「Ⅲ以上」が5.3%となっています。

【就労状況別・認知症自立度】



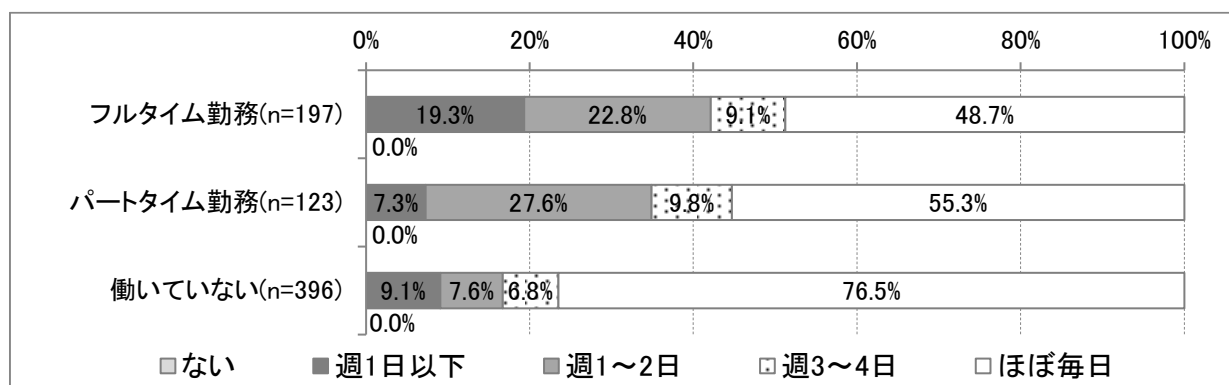
② 就労状況別 主な介護者が行っている介護

● 家族等による介護の頻度

Q ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの 介護を含む) (1つを選択)

ご家族等の介護の頻度を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が48.7%と最も多く、次いで「週1～2日」が22.8%、「週1日以下」が19.3%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が55.3%と最も多く、次いで「週1～2日」が27.6%、「週3～4日」が9.8%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が76.5%と最も多く、次いで「週1日以下」が9.1%、「週1～2日」が7.6%となっています。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

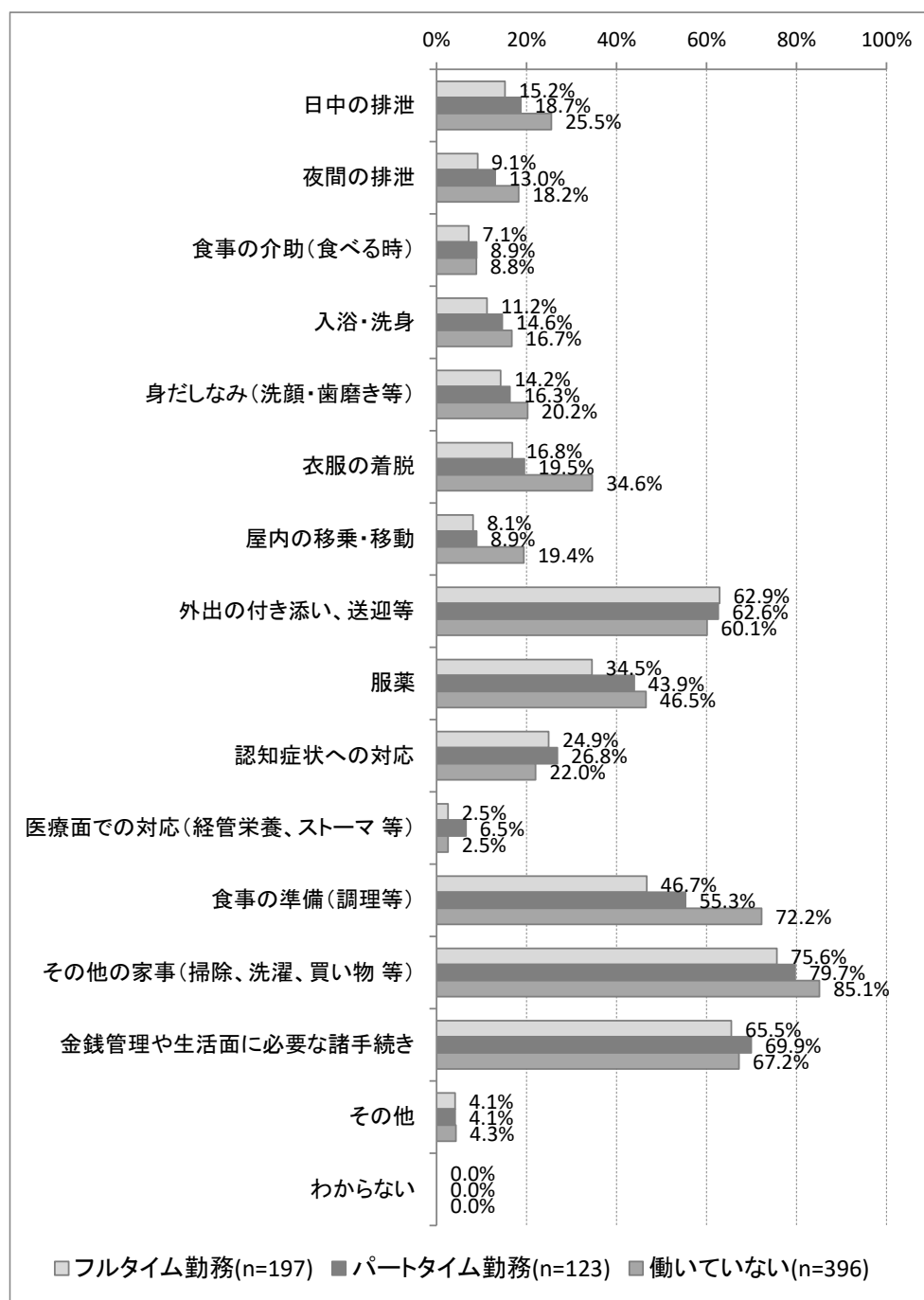


● 主な介護者が行っている介護

Q 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

主な介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 75.6%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 65.5%、「外出の付き添い、送迎等」が 62.9%となっています。「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 79.7%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 69.9%、「外出の付き添い、送迎等」が 62.6%となっています。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 85.1%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 72.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 67.2%となっています。

【就労状況別・主な介護者が行っている介護（MA）】

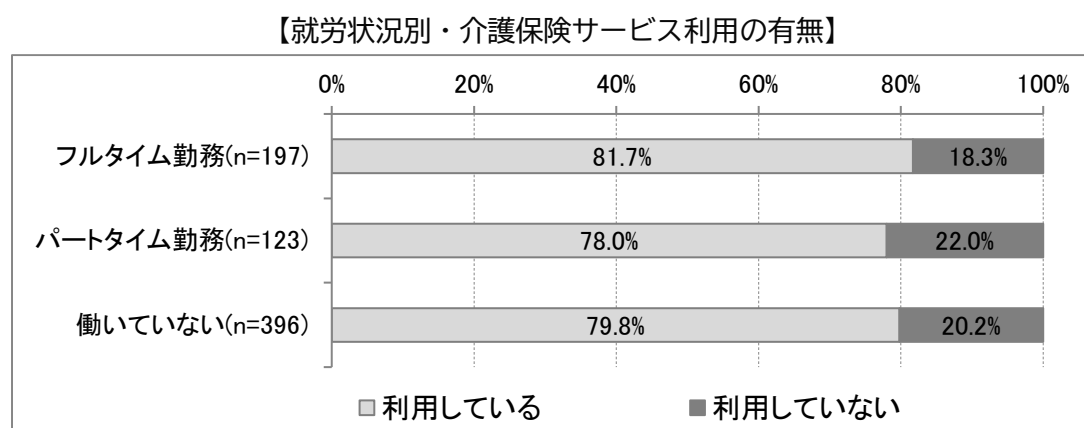


③ 介護保険サービスの利用

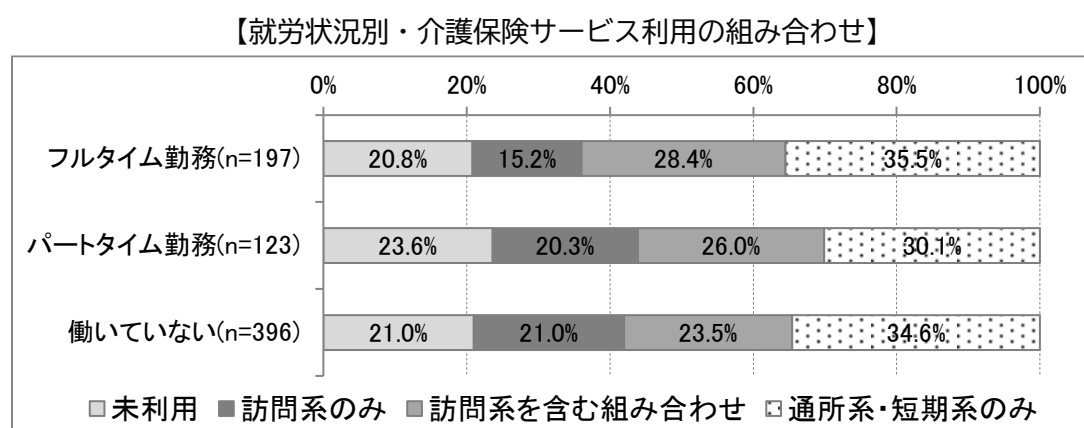
Q 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

● 就労状況別

介護保険サービスの利用の有無を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が81.7%、「利用していない」が18.3%となっています。「パートタイム勤務」では「利用している」が78.0%、「利用していない」が22.0%となっています。「働いていない」では「利用している」が79.8%、「利用していない」が20.2%となっています。



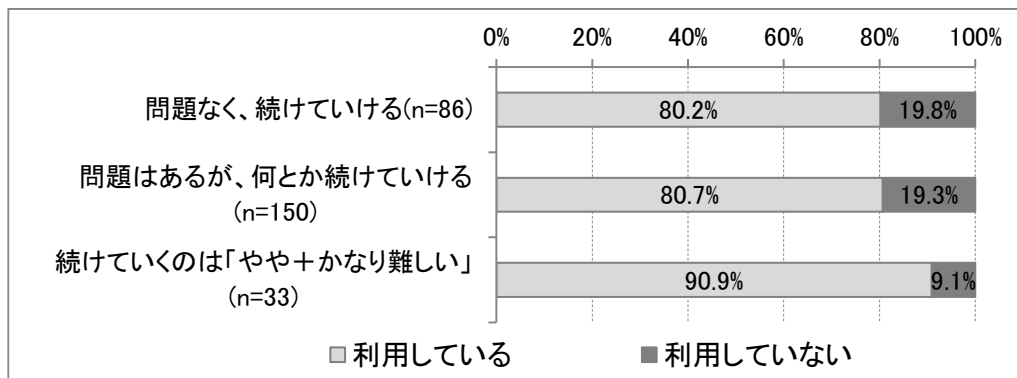
サービス利用の組み合わせを主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が35.5%と最も多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.4%、「未利用」が20.8%となっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が30.1%と最も多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.0%、「未利用」が23.6%となっています。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が34.6%と最も多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.5%、「未利用」、「訪問系のみ」が21.0%となっています。



● 就労継続見込み別

介護保険サービスの利用の有無を主な介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が80.2%、「利用していない」が19.8%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が80.7%、「利用していない」が19.3%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「利用している」が90.9%、「利用していない」が9.1%となっています。

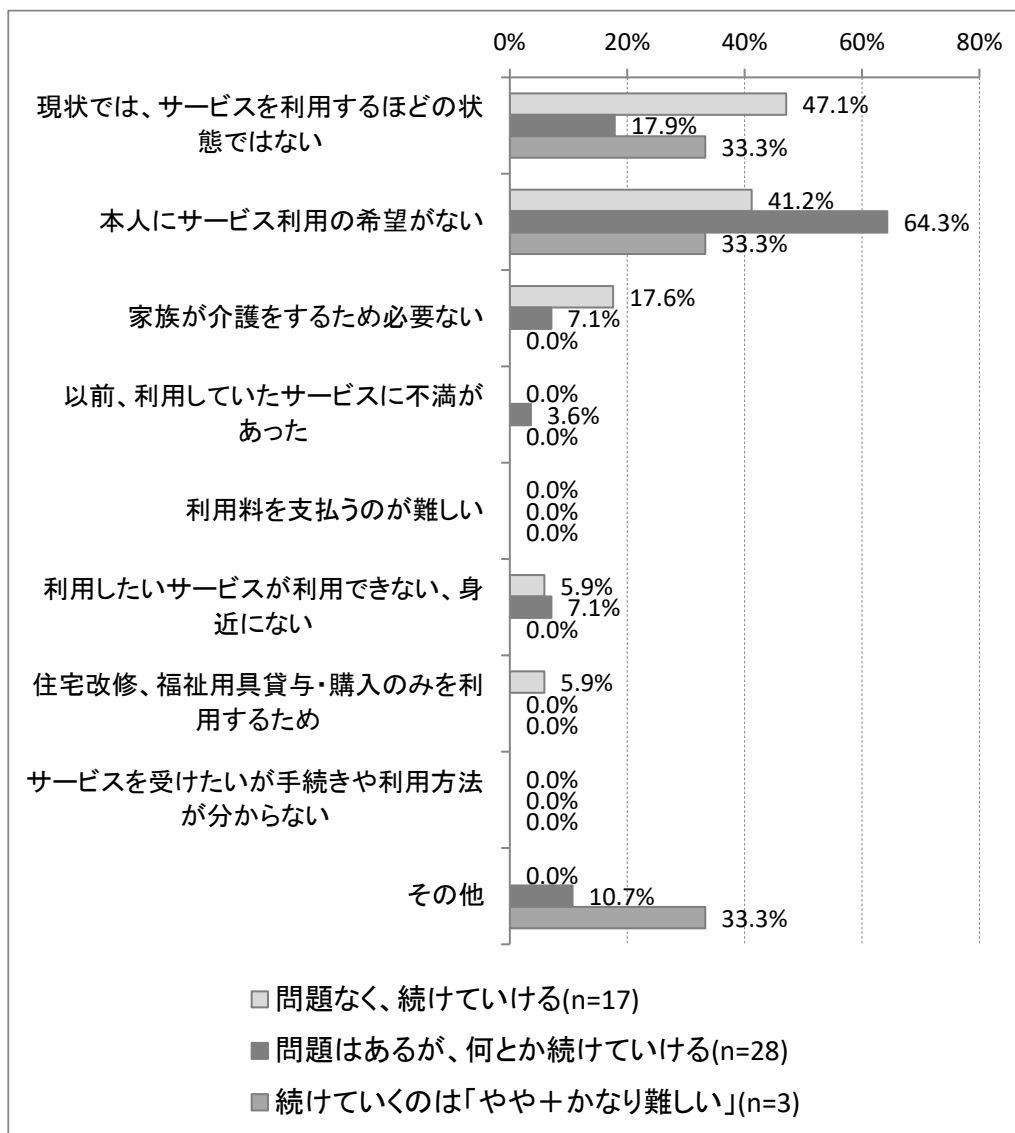
【就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無】



Q 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

未利用の理由を主な介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.1%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が41.2%、「家族が介護をするため必要ない」が17.6%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」が64.3%と最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が17.9%、「その他」が10.7%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」がそれぞれ33.3%と同じ割合になっています。それ以外の項目は、0.0%となっています。

【就労継続見込み別・介護保険サービスを利用していない理由（MA）】



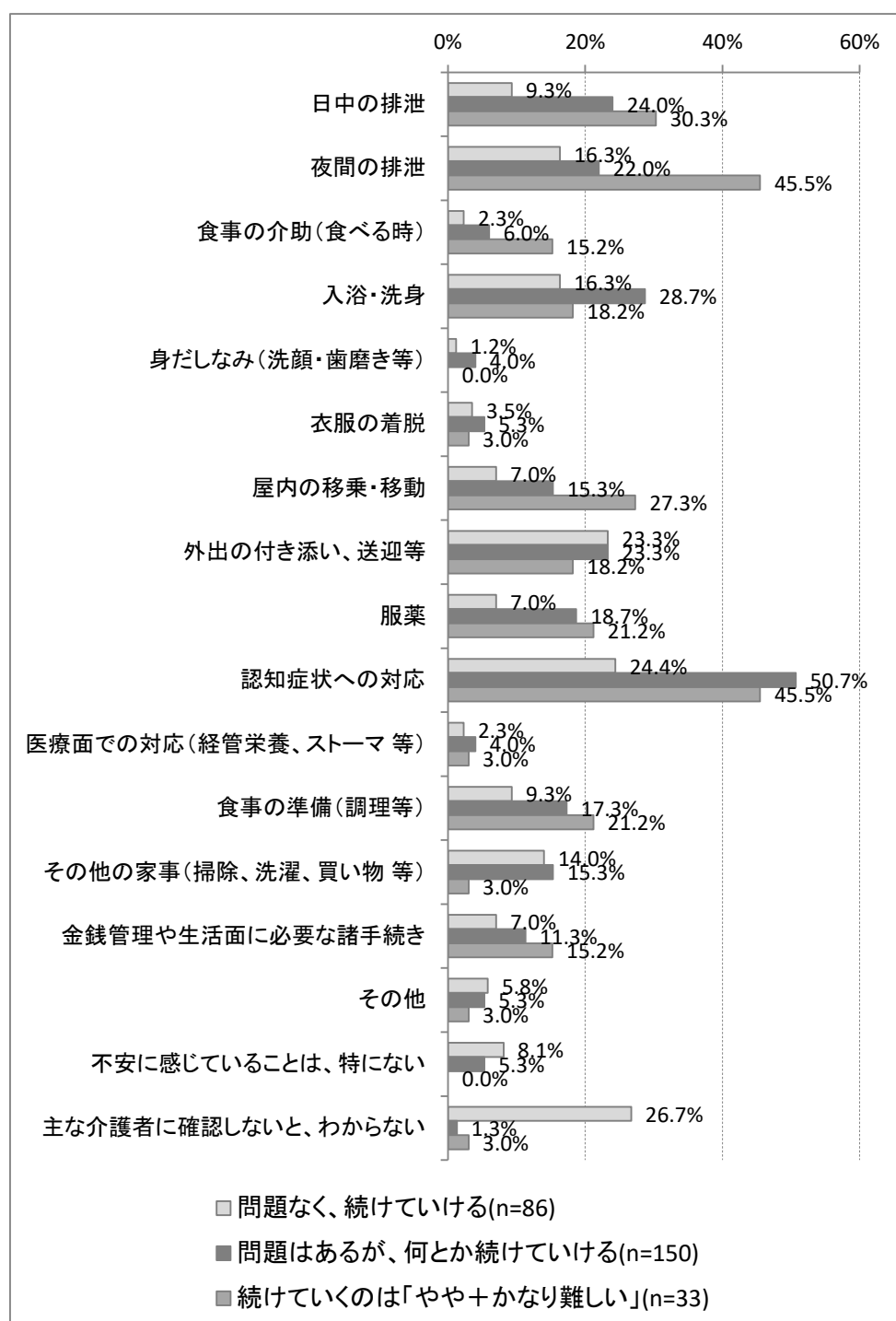
④ 主な介護者が不安に感じる介護

Q 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

● 就労継続見込み別

主な介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「主な介護者に確認しないと、わからない」が26.7%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が24.4%、「外出の付き添い、送迎等」が23.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が50.7%と最も多く、次いで「入浴・洗身」が28.7%、「日中の排泄」が24.0%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が45.5%と最も多く、次いで「日中の排泄」が30.3%、「屋内の移乗・移動」が27.3%となっています。

【就労継続見込み別・主な介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）（3 L A）】



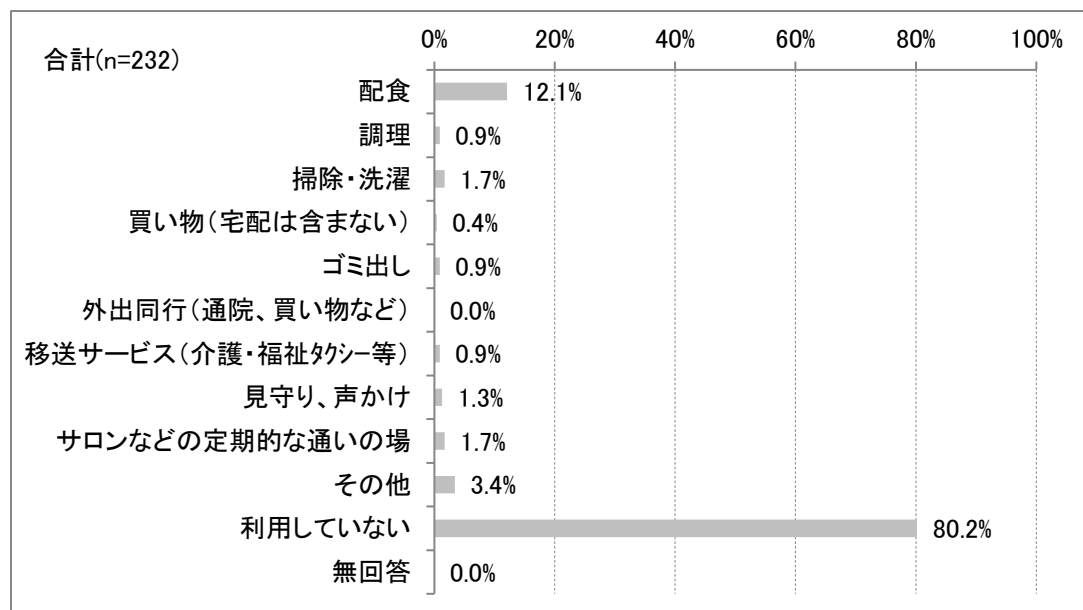
⑤ 保険外の支援・サービスの利用

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

● 保険外の支援・サービスの利用状況と必要性（フルタイム勤務）

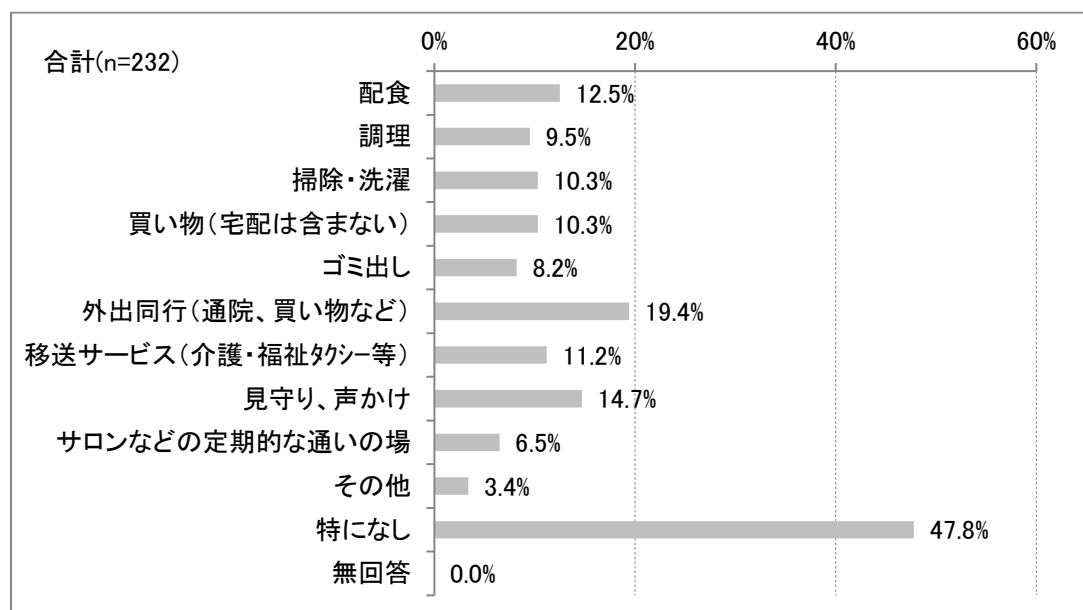
「利用していない」が最も多く 80.2%、次いで「配食」が 12.1%、「その他」が 3.4%となっています。

【利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）（MA）】



「特になし」が最も多く 47.8%、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 19.4%、「見守り、声かけ」が 14.7%となっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）（MA）】



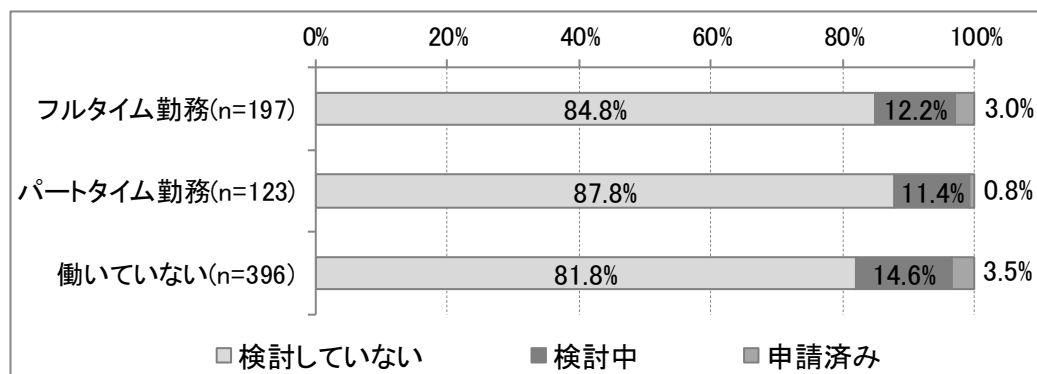
⑥ 施設等検討の状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

● 就労状況別

施設等の検討状況を主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が 84.8%、「検討中」が 12.2%、「申請済み」が 3.0%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が 87.8%、「検討中」が 11.4%、「申請済み」が 0.8%となっています。「働いていない」では「検討していない」が 81.8%、「検討中」が 14.6%、「申請済み」が 3.5%となっています。

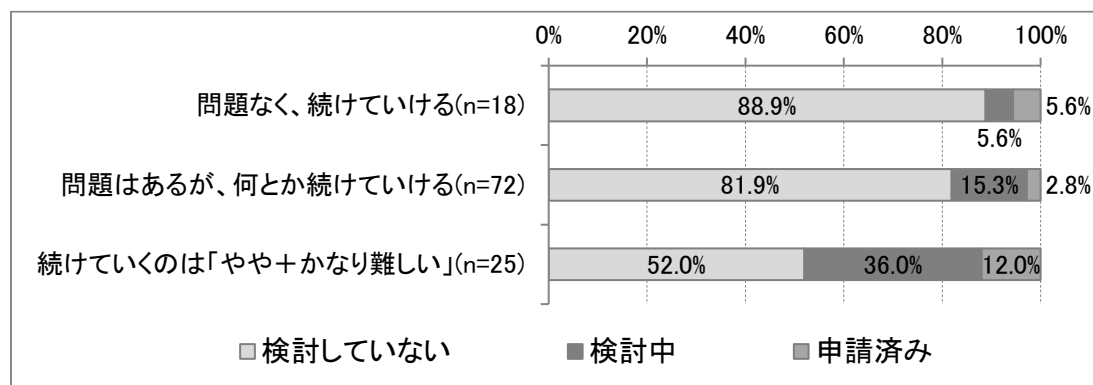
【就労状況別・施設等検討の状況】



● 就労継続見込み別

施設等の検討状況を主な介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が 88.9%、「検討中」が 5.6%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が 81.9%、「検討中」が 15.3%、「申請済み」が 2.8%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「検討していない」が 52.0%、「検討中」が 36.0%、「申請済み」が 12.0%となっています。

【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】



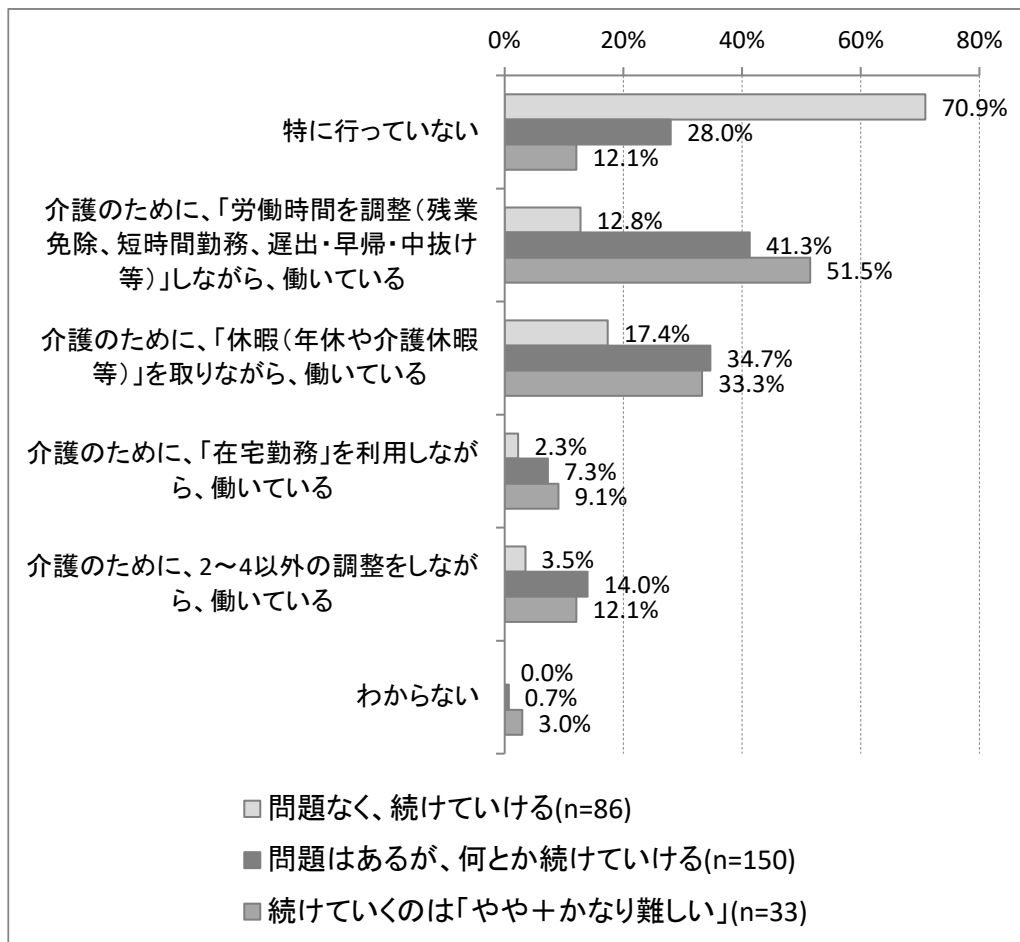
⑦ 働き方の調整と勤め先から必要な支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（あてはまるもの全て）

● 就労継続見込み別 介護のための働き方の調整

主な介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が70.9%と最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が17.4%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が12.8%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が41.3%と最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が34.7%、「特に行っていない」が28.0%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が51.5%と最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が33.3%、「特に行っていない」、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が12.1%となっています。

【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）（MA）】

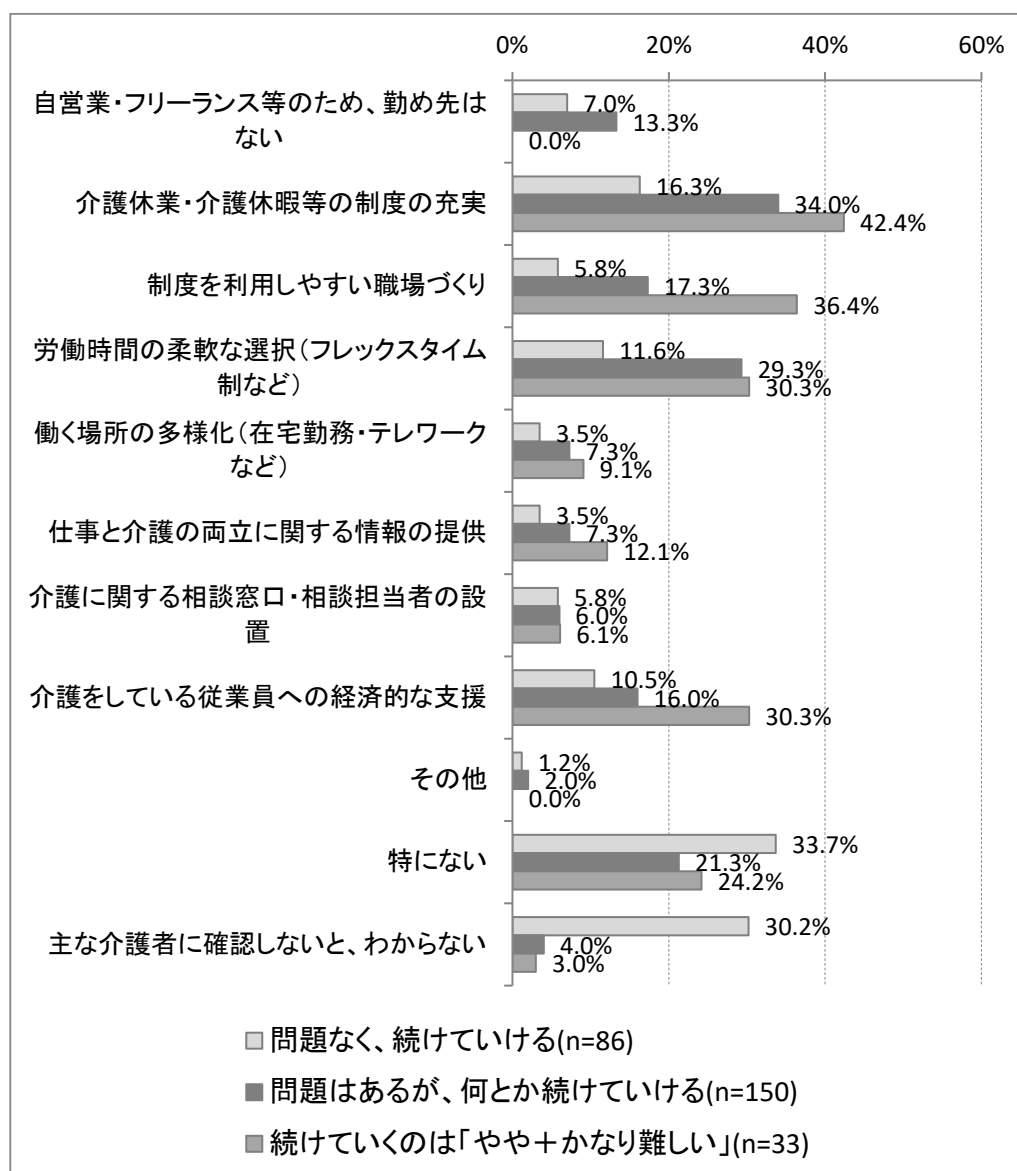


● 就労継続見込み別 効果的な勤め先からの支援

Q 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

効果的な勤め先からの支援を主な介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が33.7%と最も多く、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が30.2%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が16.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.0%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.3%、「特にない」が21.3%となっています。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が42.4%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が36.4%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が30.3%となっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）（3 L A）】



(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

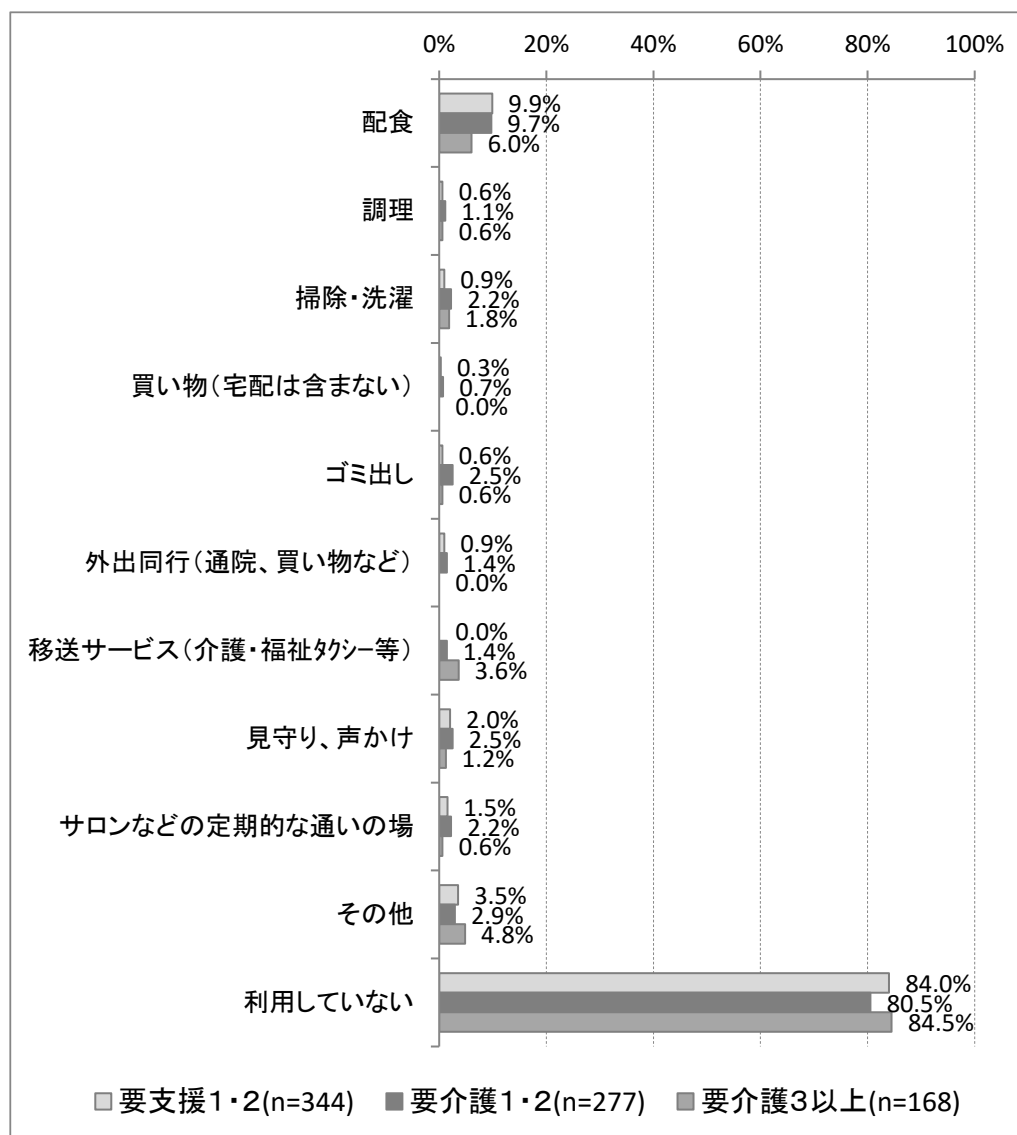
① 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

Q 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（全て）

● 要介護度・世帯類型別 保険外の支援・サービスの利用状況

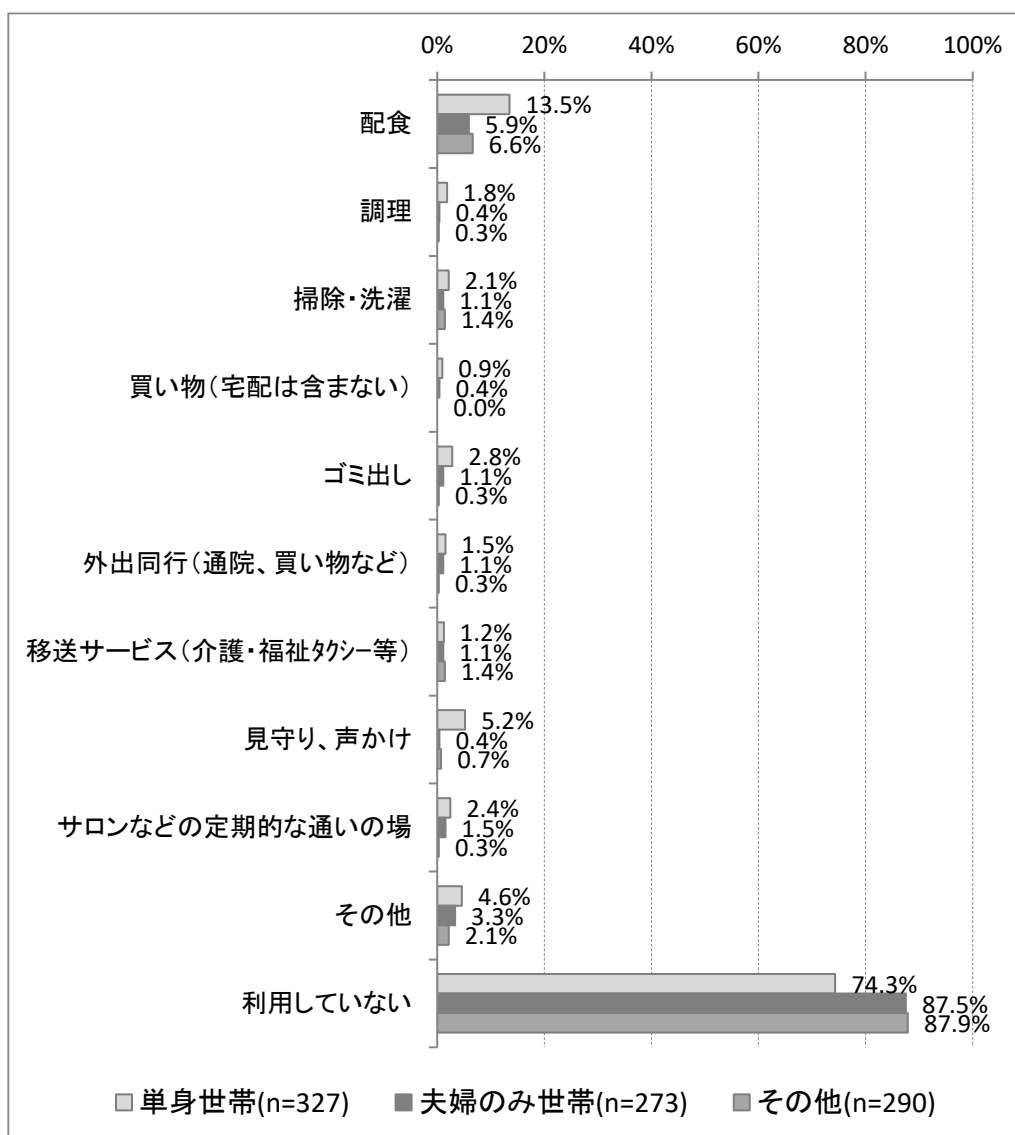
保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が84.0%と最も多く、次いで「配食」が9.9%、「その他」が3.5%となっています。「要介護1・2」では「利用していない」が80.5%と最も多く、次いで「配食」が9.7%、「その他」が2.9%となっています。「要介護3以上」では「利用していない」が84.5%と最も多く、次いで「配食」が6.0%、「その他」が4.8%となっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（MA）】



保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が74.3%と最も多く、次いで「配食」が13.5%、「見守り、声かけ」が5.2%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が87.5%と最も多く、次いで「配食」が5.9%、「その他」が3.3%となっています。「その他」では「利用していない」が87.9%と最も多く、次いで「配食」が6.6%、「その他」が2.1%となっています。

【世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況（MA）】

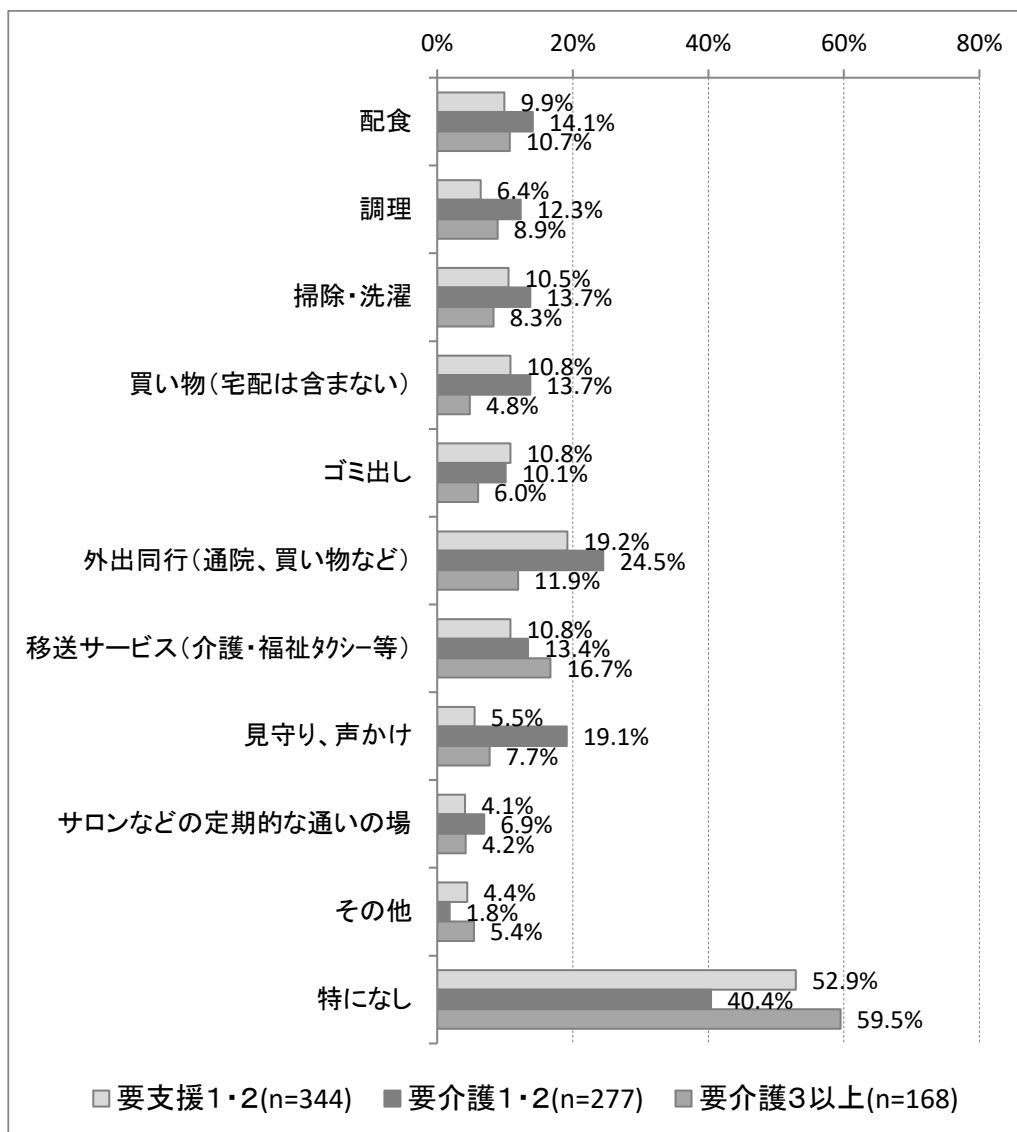


● 要介護度・世帯類型別・保険外の支援・サービスの必要性

Q 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

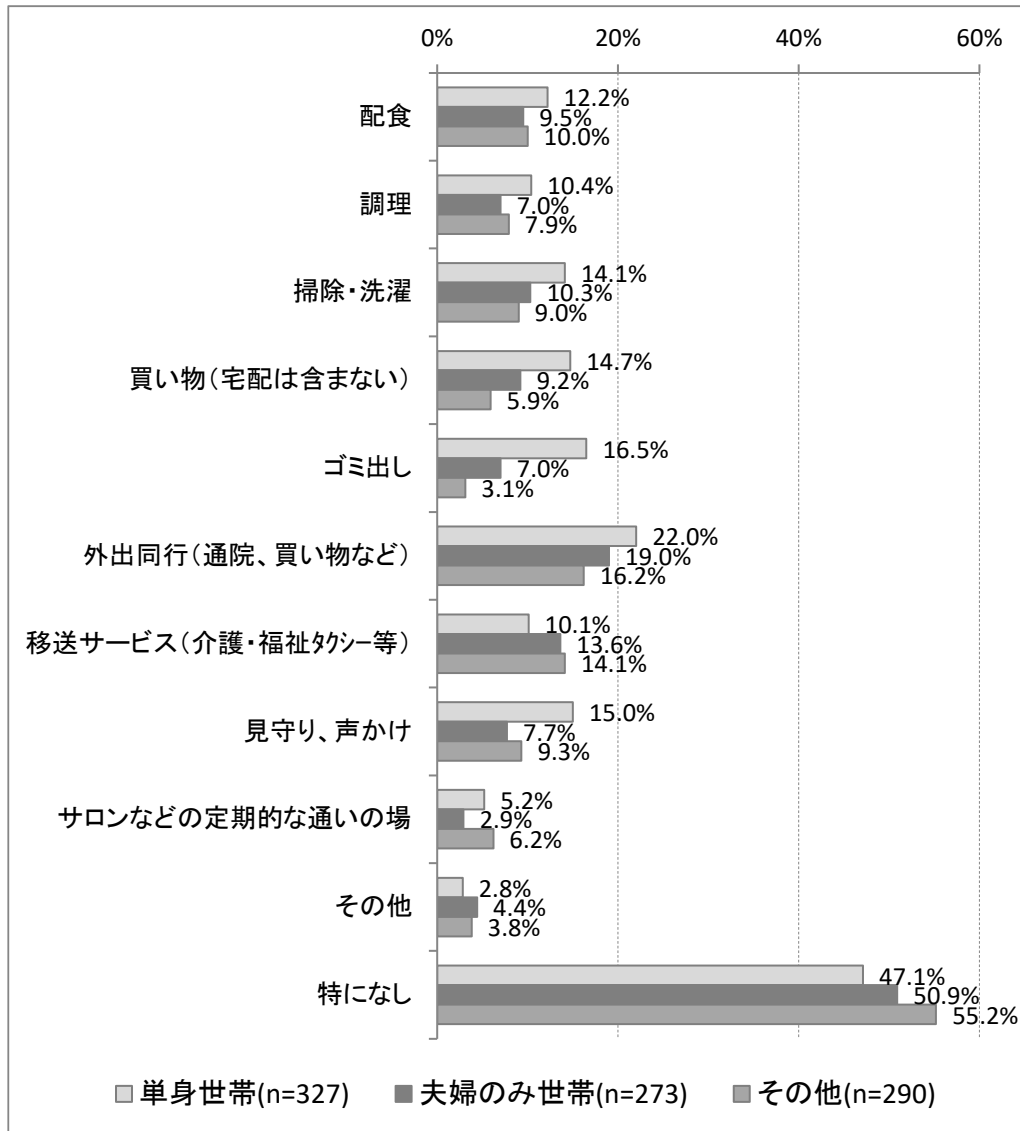
保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が52.9%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が19.2%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.8%となっています。「要介護1・2」では「特になし」が40.4%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が24.5%、「見守り、声かけ」が19.1%となっています。「要介護3以上」では「特になし」が59.5%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が11.9%となっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（MA）】



保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が 47.1%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 22.0%、「ゴミ出し」が 16.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「特になし」が 50.9%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 19.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 13.6%となっています。「その他」では「特になし」が 55.2%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 16.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 14.1%となっています。

【世帯類型別・保険外の支援・サービスの必要性（MA）】



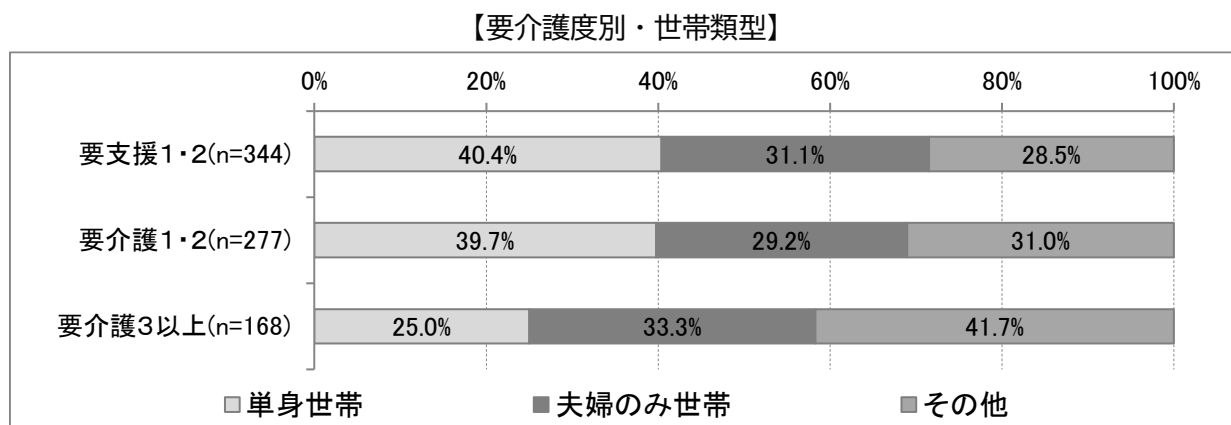
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型

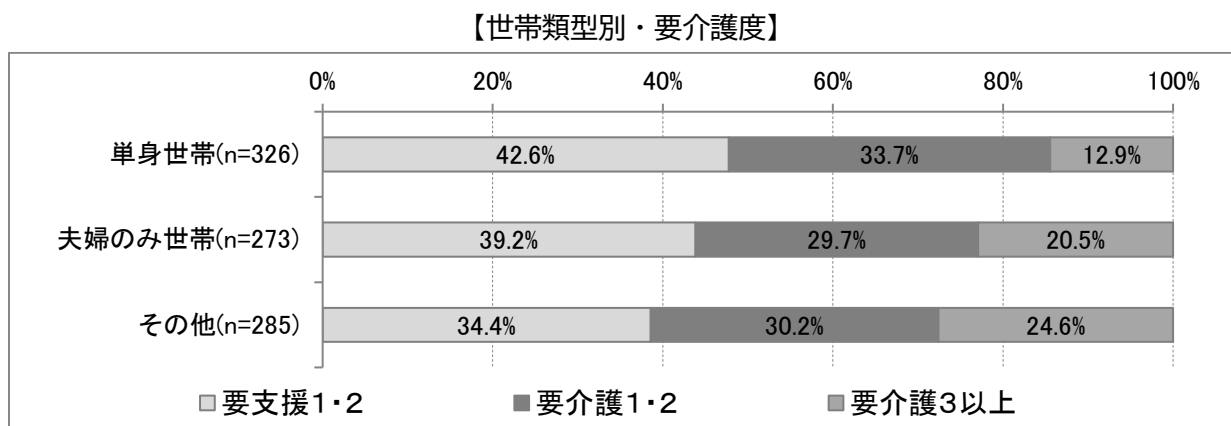
Q 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

● 要介護度別

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「単身世帯」が40.4%、「夫婦のみ世帯」が31.1%、「その他」が28.5%、「要介護1・2」では「単身世帯」が39.7%、「その他」が31.0%、「夫婦のみ世帯」が29.2%となっています。「要介護3以上」では「その他」が41.7%、「夫婦のみ世帯」が33.3%、「単身世帯」が25.0%となっています。



二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要支援1・2」が42.6%、「要介護1・2」が33.7%、「要介護3以上」が12.9%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要支援1・2」が39.2%、「要介護1・2」が29.7%、「要介護3以上」が20.5%となっています。「その他」では「要支援1・2」が34.4%、「要介護1・2」が30.2%、「要介護3以上」が24.6%となっています。

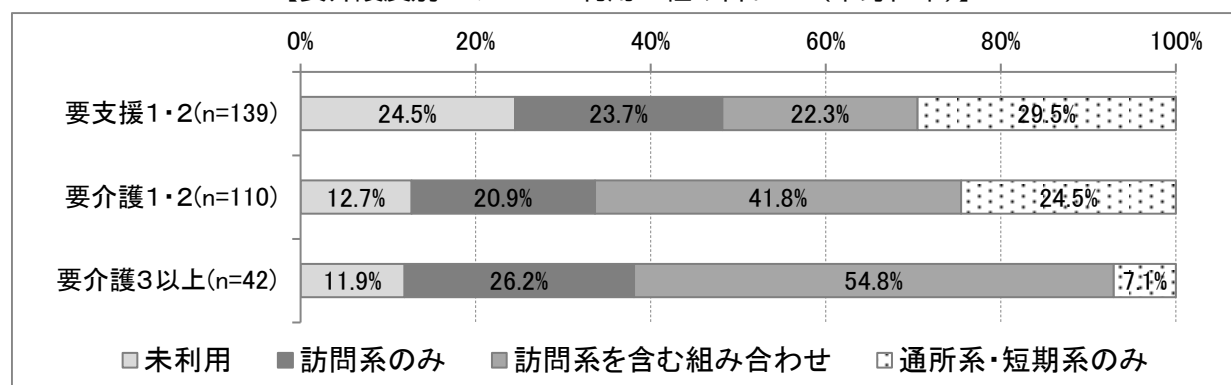


② サービス利用の組み合わせ

● 要介護度・世帯類型別

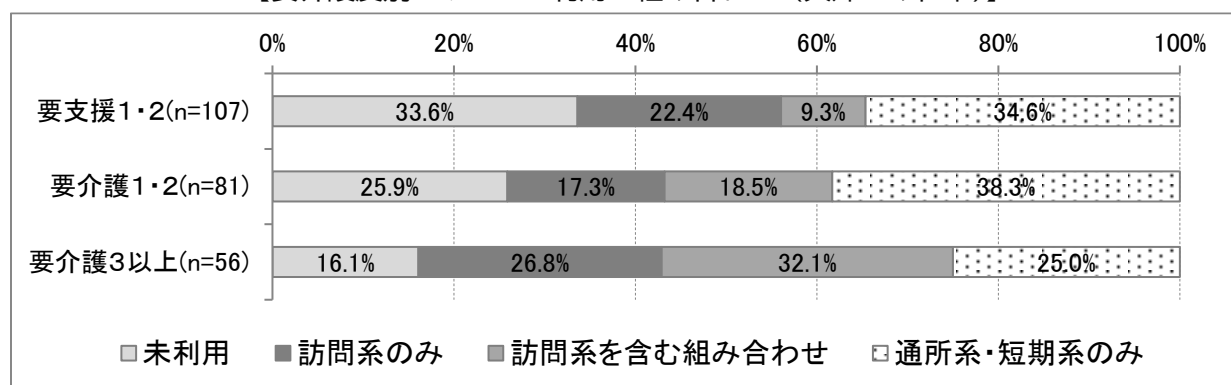
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 29.5%と最も多く、次いで「未利用」が 24.5%、「訪問系のみ」が 23.7%となっています。「要介護１・２」では「訪問系を含む組み合わせ」が 41.8%と最も多く、次いで「通所系・短期系のみ」が 24.5%、「訪問系のみ」が 20.9%となっています。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が 54.8%と最も多く、次いで「訪問系のみ」が 26.2%、「未利用」が 11.9%となっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



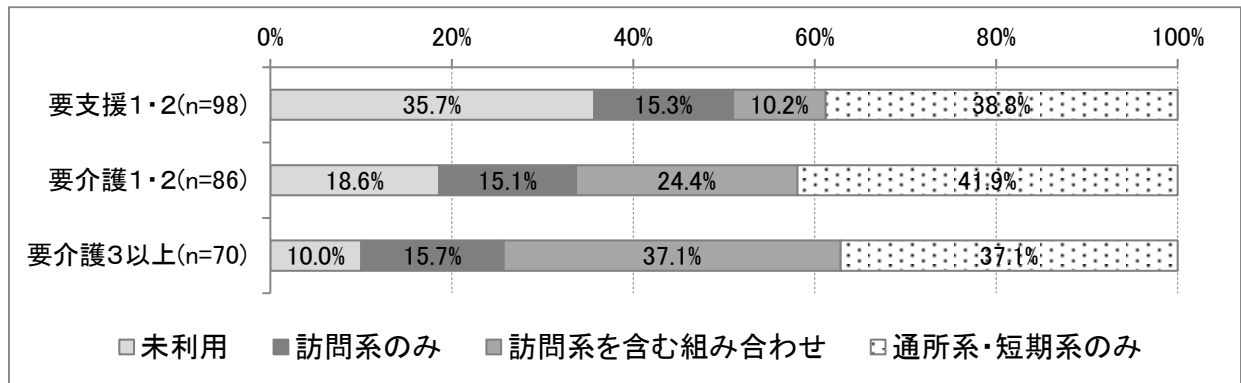
サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 34.6%と最も多く、次いで「未利用」が 33.6%、「訪問系のみ」が 22.4%となっています。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 38.3%と最も多く、次いで「未利用」が 25.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が 18.5%となっています。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が 32.1%と最も多く、次いで「訪問系のみ」が 26.8%、「通所系・短期系のみ」が 25.0%となっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が 38.8%と最も多く、次いで「未利用」が 35.7%、「訪問系のみ」が 15.3%となっています。「要介護１・２」では「通所系・短期系のみ」が 41.9%と最も多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 24.4%、「未利用」が 18.6%となっています。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が 37.1%と最も多く、次いで「訪問系のみ」が 15.7%、「未利用」が 10.0%となっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



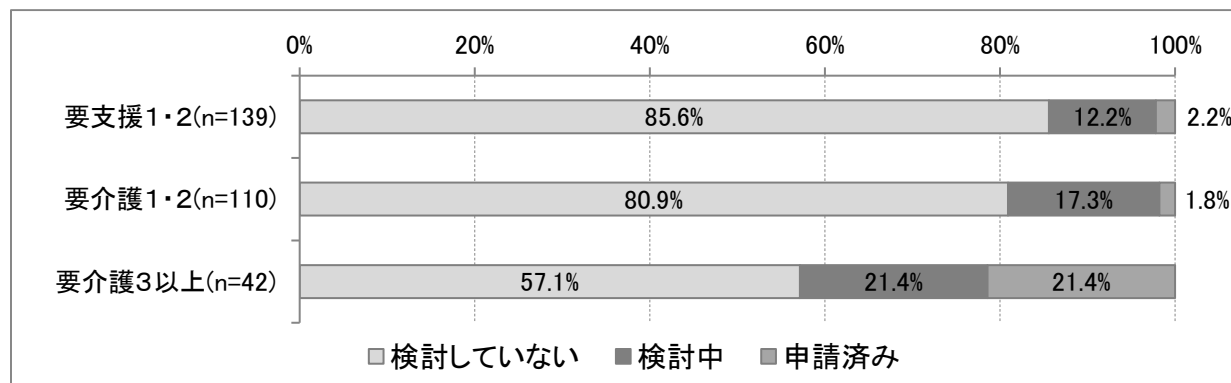
③ 施設等検討の状況

Q 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

● 要介護度・世帯類型別

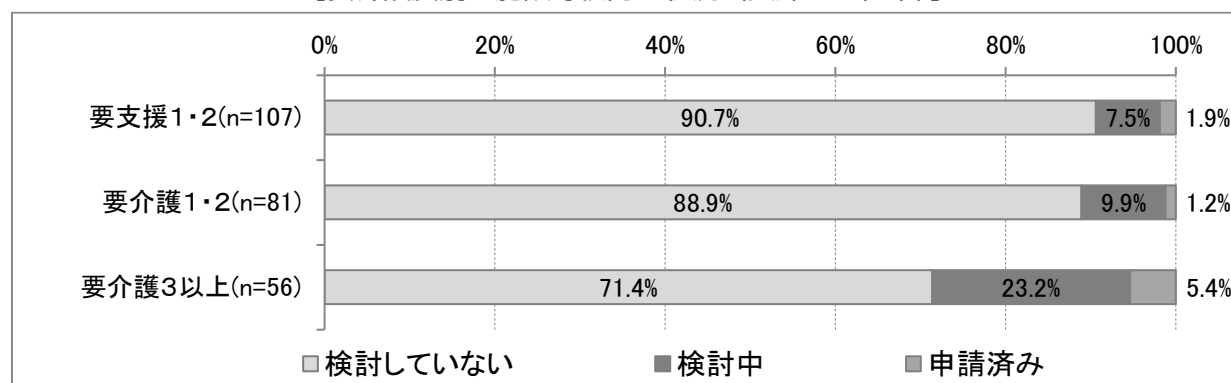
施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が85.6%、「検討中」が12.2%、「申請済み」が2.2%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が80.9%、「検討中」が17.3%、「申請済み」が1.8%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が57.1%、「検討中」が21.4%、「申請済み」が21.4%となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

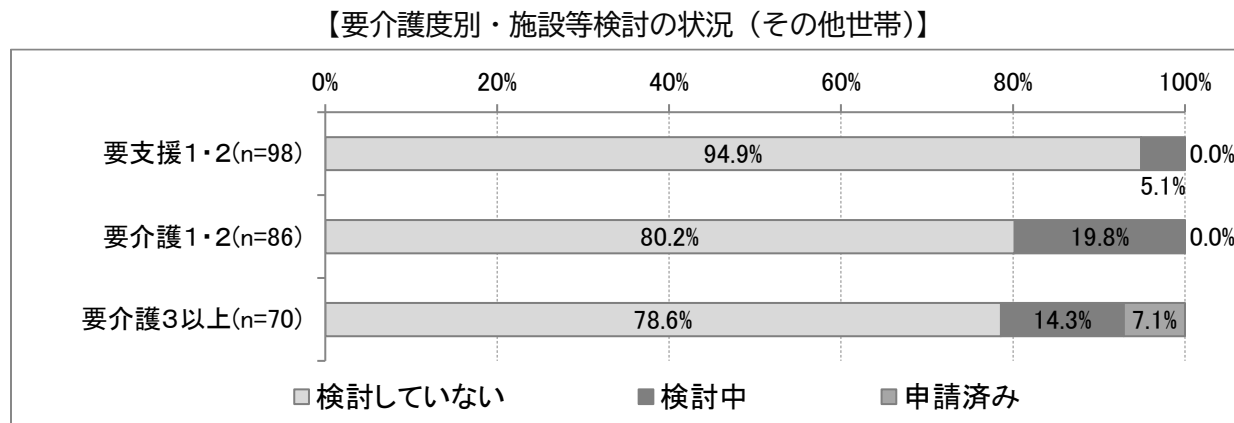


施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が90.7%、「検討中」が7.5%、「申請済み」が1.9%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が88.9%、「検討中」が9.9%、「申請済み」が1.2%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が71.4%、「検討中」が23.2%、「申請済み」が5.4%となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】



施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 94.9%、「検討中」が 5.1%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護１・２」では「検討していない」が 80.2%、「検討中」が 19.8%、「申請済み」が 0.0%となっています。「要介護３以上」では「検討していない」が 78.6%、「検討中」が 14.3%、「申請済み」が 7.1%となっています。



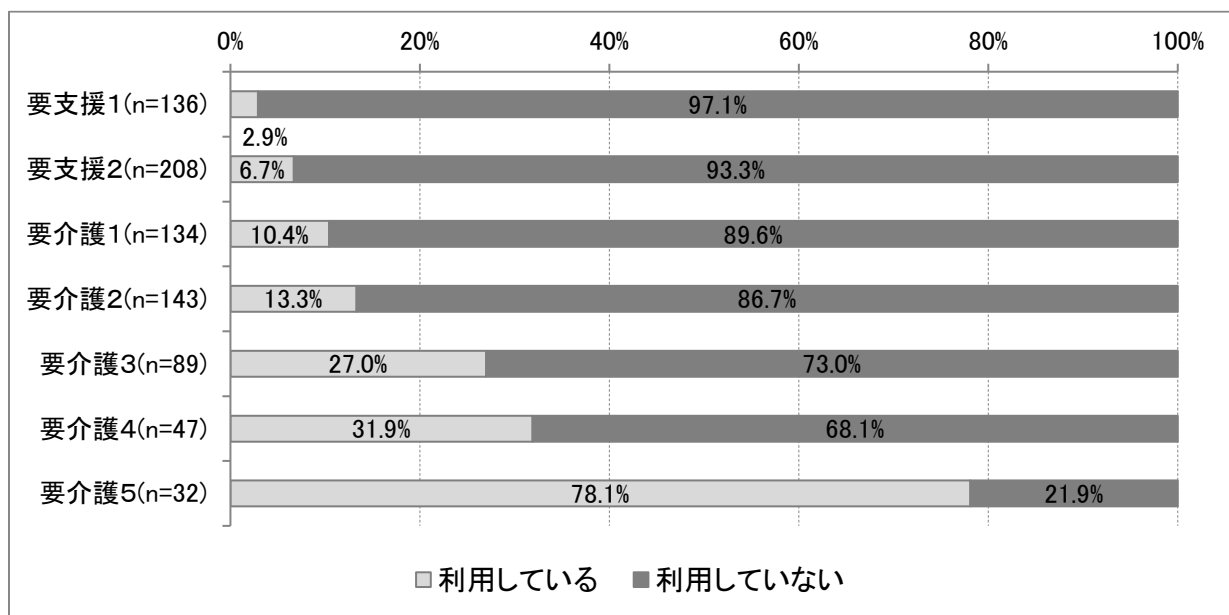
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制

① 訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が97.1%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が2.9%となっています。「要支援2」では「利用していない」が93.3%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が6.7%となっています。「要介護1」では「利用していない」が89.6%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が10.4%となっています。「要介護2」では「利用していない」が86.7%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が13.3%となっています。「要介護3」では「利用していない」が73.0%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が27.0%となっています。「要介護4」では「利用していない」が68.1%ともっとも割合が多く、次いで「利用している」が31.9%となっています。「要介護5」では「利用している」が78.1%ともっとも割合が多く、次いで「利用していない」が21.9%となっています。

要介護度が重度化するにつれて訪問診療を「利用している」割合が多くなる傾向がみられます。

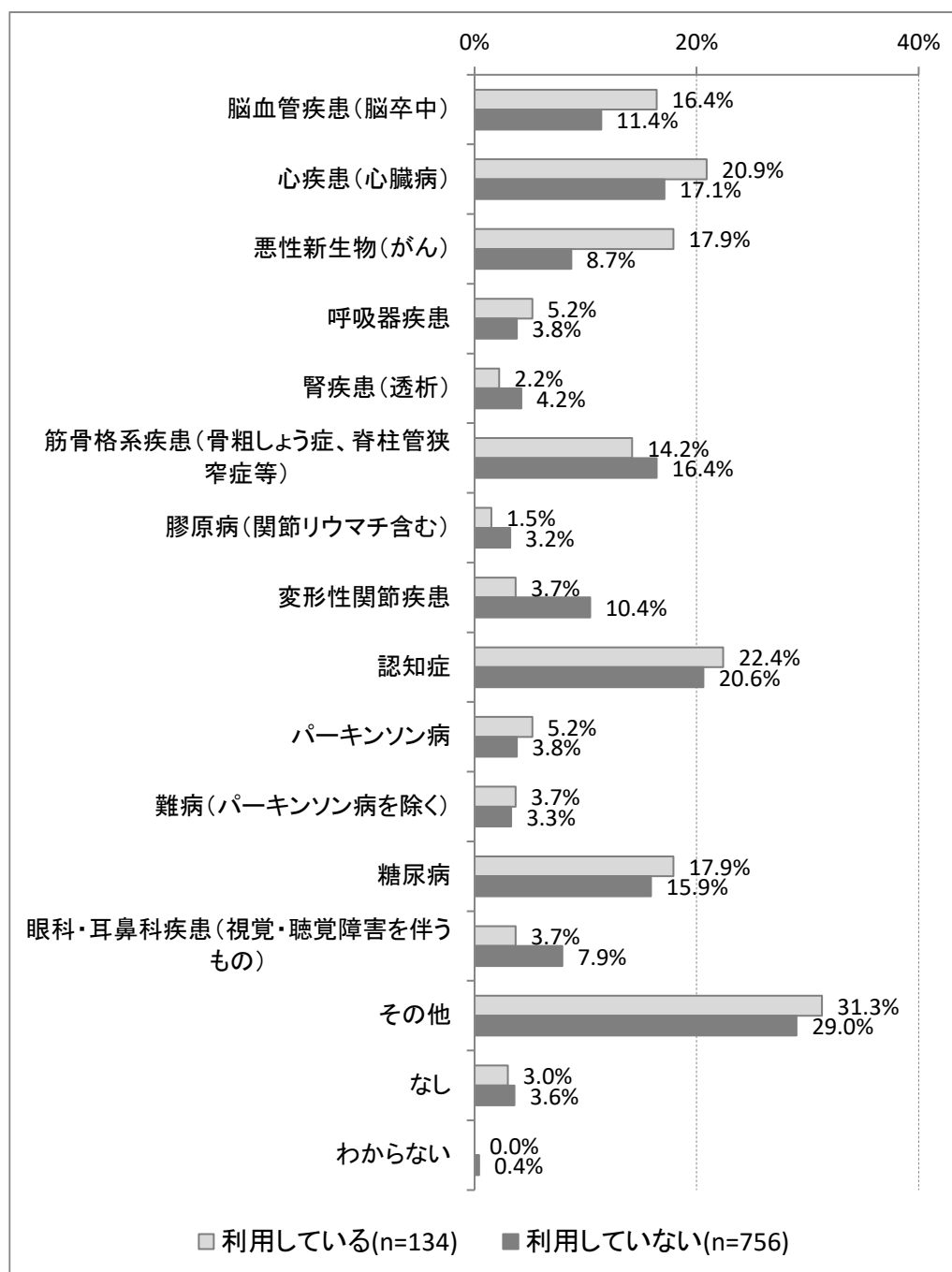
【要介護度別・訪問診療の利用割合】



② 抱えている傷病

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「その他」が31.3%と最も割合が多く、次いで「認知症」が22.4%、「心疾患（心臓病）」が20.9%となっています。「利用していない」では「その他」が29.0%と最も割合が多く、次いで「認知症」が20.6%、「心疾患（心臓病）」が17.1%となっています。

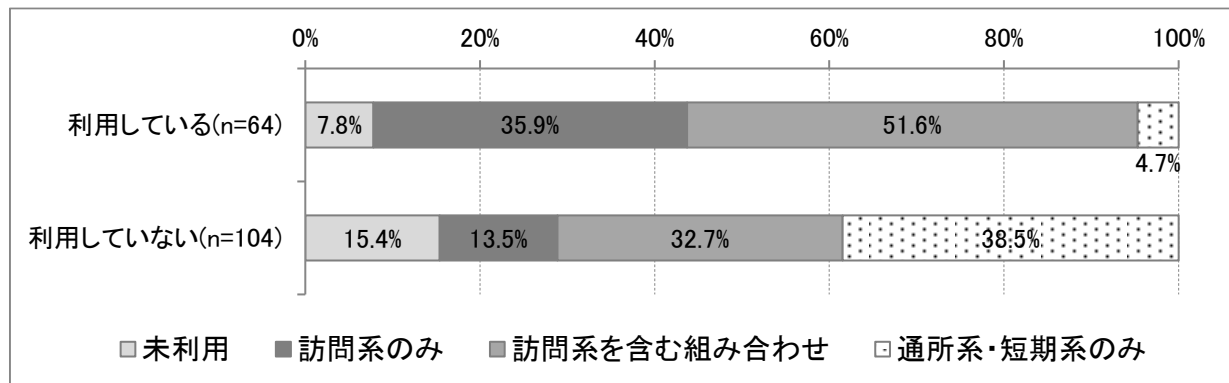
【訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病】



③ サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が 51.6%と最も割合が多く、次いで「訪問系のみ」が 35.9%、「未利用」が 7.8%となっています。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が 38.5%と最も割合が多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が 32.7%、「未利用」が 15.4%となっています。

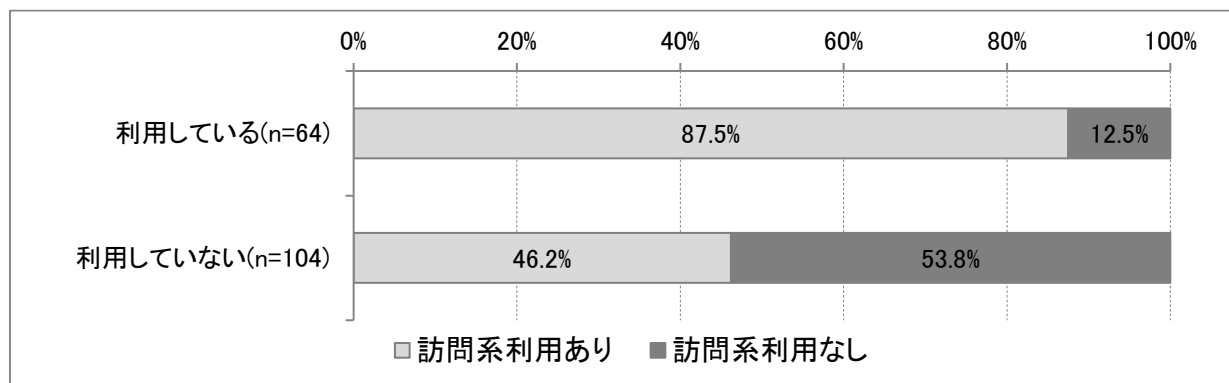
【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護 3 以上）】



④ 訪問系の利用の有無

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が 87.5%と最も割合が多く、次いで「訪問系利用なし」が 12.5%となっています。「利用していない」では「訪問系利用なし」が 53.8%と最も割合が多く、次いで「訪問系利用あり」が 46.2%となっています。

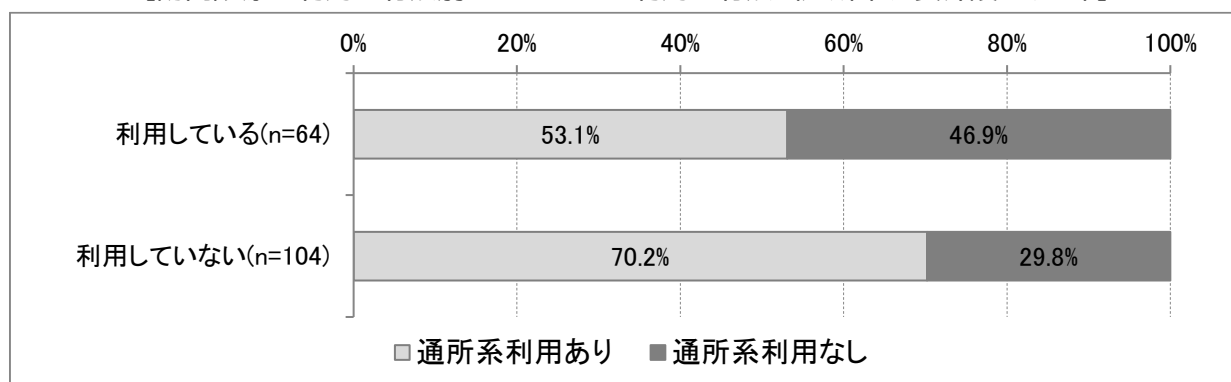
【訪問診療の利用の有無別・訪問系の利用の有無（訪問系、要介護 3 以上）】



⑤ 通所系の利用の有無

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用あり」が 53.1%と最も割合が多く、次いで「通所系利用なし」が 46.9%となっています。「利用していない」では「通所系利用あり」が 70.2%と最も割合が多く、次いで「通所系利用なし」が 29.8%となっています。

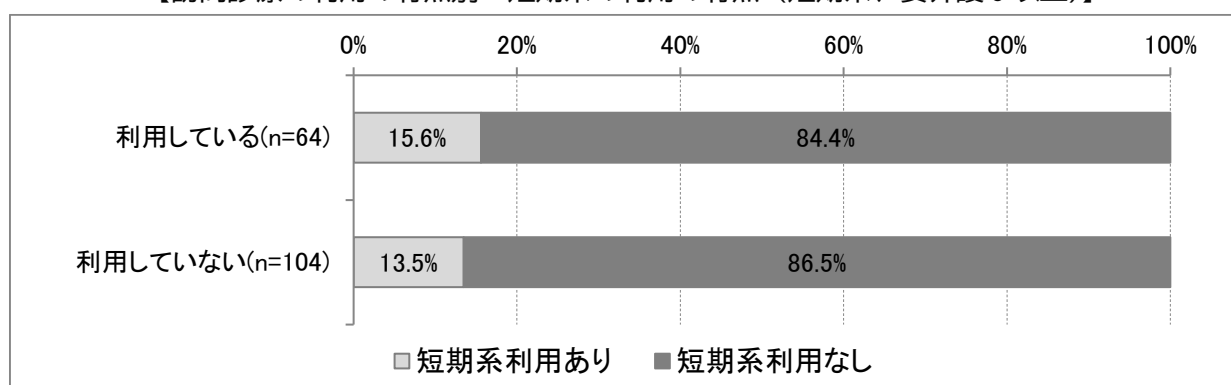
【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護 3 以上）】



⑥ 短期系の利用の有無

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が 84.4%と最も割合が多く、次いで「短期系利用あり」が 15.6%となっています。「利用していない」では「短期系利用なし」が 86.5%と最も割合が多く、次いで「短期系利用あり」が 13.5%となっています。

【訪問診療の利用の有無別・短期系の利用の有無（短期系、要介護 3 以上）】



6 調査結果のまとめ

(1) 在宅生活の限界点向上について

- ・要介護3以上では、約3割（検討中 19.0%、申請済み 10.1%の計 29.1%）の人が施設等への入所・入居を検討（または申請）しています【P. 19】。
- ・主な介護者が不安を感じる介護をみると、要介護1・2（中程度）では「認知症への対応（48.7%）」、要介護3以上（重度）になると「日中の排泄（44.0%）」「夜間の排泄（40.3%）」といった排泄介助が多くなっています。重度の要介護者を支える主な介護者も70代以上が約4割を占めるなど高齢化しており、排泄や認知症対応等にかかる介護不安の軽減が、在宅限界点の向上を図るための大きなポイントです【P. 7, 21】。

(2) 仕事と介護の両立について

- ・仕事と介護を両立している主な介護者は4割半ば（フルタイム 28.2%、パートタイム 16.6%）であり、その多くが要介護者本人の「子」（フルタイム勤務層の 87.8%）で、企業の中核を担う50代（55.1%）が中心となっています【P. 10, 23-24】。
- ・就労継続が「やや＋かなり難しい」と感じている層は、「夜間の排泄」や「認知症状への対応」（ともに 45.5%）に強い不安を抱えており、これらが就労継続可否の分岐点となっています【P. 30】。
- ・介護離職自体は全体で3.5%（5%以下）に留まるものの、「問題はあるが、何とか続けていける」と感じている就労危機の中間層において、介護保険サービスを利用していない最大の理由は「本人にサービス利用の希望がない（64.3%）」となっています。要介護者本人のサービス拒否が主な介護者の就労危機を招いている実態があり、家族の努力に依存しないよう、サービスの適切な利用促進が求められます【P. 10, 29】。
- ・また、勤め先に求める支援について「主な介護者に確認しないと、わからない（25.7%）」「特になし（21.1%）」が合わせて約半数を占めており、企業側から対象者への働きかけも重要です【P. 12】。

(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- ・介護保険サービス以外の支援・サービスについて、全体では「利用していない（82.8%）」、在宅生活に必要な支援・サービスは「特になし（50.9%）」が最も多く、顕在化しているニーズは低くなっています【P. 15】。
- ・しかし、今後の在宅生活継続に必要と感じるサービスとして「外出同行（通院、買い物など）（19.2%）」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（12.5%）」が挙げられています。さらに、保険外支援・サービスの必要性について、単身世帯に絞ると、「ゴミ出し（16.5%）」「見守り、声かけ（15.0%）」のニーズが存在し、実際の利用状況でも「配食（13.5%）」が他世帯より多くなっています。単身の要介護者はこれら生活インフラとしての保険外サービスも活用しながら在宅生活を成立させている状態であり、どれか一つでも欠けると在宅生活が困難となることが考えられることから、安定供給ルートの確保と整備が急務です【P. 15, 36, 38】。

（４）将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- ・単身世帯では、施設等への入所を「検討していない」割合が約８割（79.5％）を占める一方、要介護度が上がるにつれて訪問系サービスの利用割合が大きくなり、要介護３以上では81.0％に達しています【P. 19, 40】。
- ・一方、夫婦のみ世帯では、要支援～要介護中等度において「通所系・短期系のみ」の利用割合が多くなっています。配偶者等による老老介護など、同居介護者のレスパイトケア（介護負担の一時休止）の必要性が高いことから、こうした機能を持つ通所系・短期系サービスを組み合わせた利用が多くなっていると考えられます【P. 40】。

（５）医療ニーズの高い在宅療養者を支えるサービス等の提供体制

- ・訪問診療の利用割合は、要支援１（2.9％）から要介護５（78.1％）まで、要介護度が重度化するにつれて段階的に多くなる傾向が顕著にみられます【P. 44】。
- ・訪問診療利用者が抱えている傷病は「認知症（22.4％）」、「心疾患（心臓病）（20.9％）」、「悪性新生物（がん）（17.9％）」、「糖尿病（17.9％）」、「脳血管疾患（16.4％）」が多くなっています。また、訪問診療利用者（要介護３以上）の大半（87.5％）が訪問系介護サービスを併用しています。医療ニーズの高い在宅療養者を支えるため、これらの疾患に対応した在宅医療と訪問介護・看護が密接に連携するサービス提供体制を充実させることが重要です【P. 45-46】。

7 調査票

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（あてはまるもの全て）

1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族	3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー	5. その他	

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他
---------	-----------	--------

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない	→ 問8（裏面）へ 問3 ～ 問13 へ	
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない		
3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある		

★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者	4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他
--------	------	----------	------	----------	--------

★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない			

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（あてはまるもの全て）

【身体介護】		
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
10. 認知症状への対応	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	
【生活援助】		
12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
【その他】		
15. その他	16. わからない	

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるもの全て）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した	4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- ここから再び、全員に調査してください。

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(全て)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他	11. 利用していない	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(あてはまるもの全て)

1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他	11. 特になし	

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している	3. すでに入所・入居申し込みをしている
------------------	-----------------	----------------------

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(あてはまるもの全て)

1. 脳血管疾患(脳卒中)	2. 心疾患(心臓病)	3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患	5. 腎疾患(透析)	6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)	8. 変形性関節疾患	9. 認知症
10. パーキンソン病	11. 難病(パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	14. その他	15. なし
		16. わからない

★ 問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している → A票の聞き取り終了	2. 利用していない → 問14へ
-----------------------	-------------------

★ 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない	4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい	6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他	

- 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(あてはまるもの全て)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特になし |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。